

LION

HEADLINE

山田国際会長夫妻、ライオンズ・フロードでローズ・パレードに参加

ふるさと探訪

東京都墨田区・ものづくりの町が展開する地域ブランド「すみだモダン」

今月の特集

追跡・東日本大震災VI

3



IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

MARCH 2016 WWW.THELION-MAG.JP

ライオン誌(毎月20日発行)第58巻第3号 2016年2月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書／ライオン誌創刊号復刻版

- ライオンズ新書01
ライオンズ力を高める
第1版第2刷



ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズスピリット』の後継書。

新書判 224ページ
1部500円・送料実費

- 大口注文割引
100～499部＝1部450円
500部以上＝1部400円

- ライオンズ新書02
LCIF早分かり
第2版第1刷



ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 184ページ
1部400円・送料実費

- 大口注文割引
100～499部＝1部350円
500部以上＝1部300円

- 『ライオン誌』日本語版
創刊号復刻版
第1版第5刷



1958年創刊の『ライオン誌』日本語版を復刻。日本にライオニズムがもたらされて6年目、誌面から草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

B5判 68ページ
1部300円・送料実費

- 大口注文割引
100～499部＝1部250円
500部以上＝1部200円

ライオンズスクール・シリーズ

- 初級編・ライオンズクラブ入門
第3版第5刷



入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

- 大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

- 中級編・クラブ運営の基礎知識
第3版第3刷



クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

- 上級編・リーダーシップを養う
第1版第5刷



国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

- 合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料(組み合わせは問いません)。※ただし、急ぎの場合は実費請求
■お申し込みはEメール(office@thelion.jp)またはファクス(03-6674-8781)でお願いします



■2016年3月号
表紙
岩手県大槌町
浪板海岸
写真/鈴木秀晃

- 4 国際会長メッセージ ● 「LCIFは最高の奉仕の『基盤(ファンデーション)』」
- 5 HEADLINE ● 山田国際会長夫妻、ライオンズ・フロートでローズ・パレードに参加
- 6 SCENE ● 石川県金沢東/大阪府泉大津
- 10 CLUB REPORT
10: 東京吉祥寺/12: 鳥取/14: 山口県大島、大島中央、大島オレンジ/14: 兵庫県尼崎/15: 青森ZERO/15: 京都錦/16: 栃木県下野/16: 新潟県柏崎日本海/17: 大阪府堺フェニックス/17: 千葉県八街
- 18 3分間ライオンズ・アクティビティ編 ● 保健 糖尿病教育
- 19 LCIF FILE
- 20 LCIF Annual Report ● 2014-15年度LCIF年次報告
- 24 特集 ● 追跡・東日本大震災VI
「東日本大震災から5年、被災地の本格復興へ向けて」
震災から5年。被災地では復興事業が進む一方、いまだ18万人を超える人々が避難生活を送っている。避難が長期化する中、被災地のライオンズは現状と向き合いながら地域再生のために奮闘している。
- 32 国際理事だより ● 「成功に向かって前進しましょう」安井克之
- 33 LIONS NEWS CASSETTE
33: 100周年記念コミュニティー・レガシー・プロジェクト/33: 災害救援に新たな選択肢となるLCIFの二つの交付金/34: 次回の国際平和ポスター・コンテストのテーマは「平和・万歳」/34: 国際大会開催予定/35: Touchstone Stories 試金石ストーリー1 「創設者メルビン・ジョーンズ」
- 36 GMT/GLTエリア研修
- 38 FOLACフォーラム・レポート ● 寺越愼一
- 42 会員倍増計画レポート⑥
- 43 福岡国際大会への道⑦ ● 市民との触れ合いとライオンズのPR
- 44 獅子吼
44: 浪越直樹/45: 古川誠二/46: 加藤秀治/47: 木村明夫
- 49 ふるさと探訪 ● 東京都墨田区
- 54 READERS ROOM
54: 読者から/読者プレゼント
55: もう一度読みたい「あの記事」 ● 「思い上がり」
- 56 EDITORS ROOM
56: ライオン誌例会のススメ/次号予告
57: 編集室 ● 「時代の流れ」井村一男
- 58 日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President



Dr. Jitsuhiro Yamada
Lions Clubs International
President

LCIFは最高の奉仕の「基盤(ファンデーション)」

言葉を外国語に訳すという事は難しいものです。どの言語でもそうですが、一つの言葉にはそれぞれの文化を背景とした語源があり、歴史と意味の変遷があります。辞書

を引いて、一つの単語に多種多様な意味が有るのに驚くことがあります。それが自分の母国語であれば、その単語の持つ第2、第3の意味合いも自然と意識の背後に持ちながら、無意識に広がりを持って理解することが出来るのですが、それを外国語に訳す過程の中で、強引に別の社会文化の文脈の言葉に置き換えるために、元の単語が持っていた重要な意味合いが消えてしまうこともあります。日本語と英語という遠くかけ離れた二つの言語の間では、それが理由で起こる誤解も少なくないのではないのでしょうか。

英語の「Foundation (ファンデーション)」という言葉もその一つです。英語でこの単語の意味を調べてみてください。家や建物の「ファンデーション」は、コンクリートや石を積み上げた土台、基礎という意味です。また、一般に「ファンデーション」という単語は、基本的な原理原則とか、物事がその上に置かれるための基礎、またはそれを支えるものを意味します。

1968年に、私たちライオンズの交付金提供のための組織を創設するに当たり、この組織をLions Clubs International Foundationと命名した先人たちは、実に賢明な選択をしたものだと感心致します。

LCIFはまさに、ライオンズが行う活動の基礎を支えるものです。この組織は、私たちの原理原則をそのまま表現しています。それは、私たちライオンズが行う奉仕事業のための、頑丈で、安定した基盤です。この言葉「Foundation」が、日本語では単に「財団」となってしまふことが、私は残念でなりません。

ライオンズクラブは、形の上ではLCIFが無くとも機

能します。しかし、LCIFが無かったとしたら、私たちの活動も、そしてこの世界も今よりもずっと満たされないものとなったでしょう。大災害の後、身を寄せる場所が無くひもじい思いをする人々がより多くなるでしょうし、青少年はライオンズクエストのおかげで生きるスキルを学ぶ機会を持てなかったでしょう。はしかは今より多くの子どもたちの命を奪い続けたでしょうし、地域コミュニティにライオンズが行うクリニックや学校、公園なども存在しなかったでしょう。

LCIFは、ライオンズがその奉仕活動のインパクトを何倍にもするのための、すばらしく効果的な手段になりました。ここに私たちは資金をプールし、それを適切な活動に活用するために仕分けします。LCIFはクラブがより大きなスケールの奉仕事業を行うための道具なのです。

今月号では、LCIFの行う幅広い活動についてと、奉仕事業のさまざまな成功事例が紹介されます。ライオンズは、私たちの財団に半世紀にわたり貢献をしてきました。特に、日本の貢献は世界中のライオンズから、そして世界中のライオンズの奉仕を受ける人々から尊敬され、称賛を受けてきました。この良き伝統を、新しい思考で、これからも続けてまいりましょう。

LCIFへの支援を通じて、世界中でライオンズが行う奉仕をサポートしてまいりましょう。

私たちの財団は、ただ「財源を確保する組織」ではありません。私たちの「基盤」です。この英語本来の意味は、私たちのLCIFの持つ真実の役割を的確に表現しています。LCIFは私たちのすばらしい組織であり、世界ですばらしい活動を行っています。引き続き、私たちのLCIFをサポートしていきましょう。

山田 實紘

2015-16年度国際会長
山田實紘

HEADLINE



2

016年元旦、アメリカ・カリフォルニア州パサデナで行われた第127回ローズ・パレードに、山田實絃国際会長夫妻を乗せたライオンズ・フロートが登場した。カレッジ・フットボール、ローズボウルの前に行われる新年の祝賀行事で、その模様は全米を始め世界85カ国でテレビ放映され、奉仕するライオンズクラブを広くPRする機会となっている。ライオンズ・フロートは1992年、カリフォルニア出身のドナルド・E・バンカー国際会長夫妻（当時）を乗せて出場したのを機に、国際会長夫妻の参加が恒例となった。フロート製作の資金集めや飾り付けは地元パサデナのライオンズが担当。出場するフロートはその年のパレード・テーマに沿って花々で装飾される。今年のテーマは「Find Your Adventure（旺盛な冒険心で）」で、ライオンズ・フロートは「Camps For All Abilities（誰もが参加出来るキャンプ）」をテーマに、ライオンズが障害や困難を抱える人たちにさまざまなキャンプを提供していることを表現した。パレード本番の前日には国際会長夫妻が飾り付けを手伝うのも慣例となっており、山田国際会長夫妻もフロート前面の「Camps For〜」の文字に緑色の豆を埋め込む作業を行った。山田会長は地元ライオンズのインタビューに答えて、「ライオンズが行っている自然の中でのキャンプ体験が見事なフロートになりました。皆の力を結集して作り上げたこのフロートはまさに、私のテーマのキーワードの一つである『ハーモニー（和）』を体現したものです」と語った。

石川県・金沢東ライオンズクラブ

取材／鈴木秀晃

日本古来の文字文化を小・中学生に継承する新春書き初め大会

石川県のほぼ中央、江戸時代には加賀百万石の城下町として栄えた金沢市。今も数々の伝統工芸が暮らしの中に息づき、ユネスコの創造都市にも認定されている。と同時に市民が芸術を身近に感じ気軽に楽しむ創造空間として市民芸術村が設置され、若者を始め多くの人が利用するなど、市民の間にも芸術・文化活動が根付いている。

1月17日、その金沢市民芸術村で、金沢東ライオンズクラブ（作田一則会長／112人）主催の新春書き初め大会が実施され、市内の小・中学生約1000人が参加した。作田会長は開会式で「書道は自分の心を表現するすばらしい文化」だとして、気持ちを込めて書いてほしいとあいさつ。子どもたちは心を落ち着かせながら半紙に向かい、丁寧

に課題の文字を書き上げていた。最近の書き初め大会は自宅や書道教室で書いて郵送する公募型が多いが、この大会は参加者が一堂に会して課題に筆を執る。席書大会と言われるもので、準備から席書、作品選び、片付けまで、全て自分一人で行う。参加した子どもたちは制限時間内に3枚を書き上げ、うち1枚を提出。そのせいか、緊張感や一

生懸命さが伝わる書が目立った。大会終了後には、白石芳子金沢市中学校教育研究会書写部会幹事長が作品を審査し、市長賞や金沢東ライオンズクラブ会長賞などを選定。入賞作は2月18〜23日まで、市内にあるデパート香林坊大和の特設会場に展示すると共に、21日には隣接するショッピングモール香林坊アトリオで表彰式も実施する。





大阪府・泉大津ライオンズクラブ

取材／井原一樹 写真／関根則夫

少年少女に夢を与える、オリンピック3連覇野村忠宏氏の柔道教室

1月10日、泉大津市立総合体育館で泉大津ライオンズクラブ（辻川孝之会長／112人）主催の柔道教室が開かれた。講師はアトラクタ、シドニー、アテネと五輪3連覇を果たし、昨年現役を引退した野村忠宏氏だ。対象は小・中学生で、地元大阪府をはじめ、兵庫、京都、和歌山などから約400人の少年少女が集まった。

泉大津ライオンズクラブは今年2月に結成55周年を迎えた。クラブではこの記念すべき一年を迎えるに際し、青少年の育成に重点を置くことを決めた。議論をする中で、クラブが毎年9月に17年継続して実施している柔道大会の参加者を対象に、柔道教室を開くのはどうか、という案が浮上。そこで、柔道連盟を通じて野村氏に講師を依頼したと

ころ、快諾して頂けたという。当初は講演も考えたが、実技指導の方がためになるだろうと考え、教室という形に。教室は午後からの実施だが、小中学生は午前中から集合し、畳の上で汗を流していた。

大選手の技を少しでも盗もうと、野村氏の一挙手一投足に注目していた。わずか1時間強の教室だったが、野村氏は「自分がかつて弱かった。でも、最終的に強くなった。今強くなっても、高い意識を持って続けていけば強くなる」と伝え、子どもたちも日々の練習の重要性をひしひしと感じたようだ。





東京吉祥寺ライオンズクラブ

クラブが行政と市民を動かした 井の頭公園池の水質改善活動



1月23、24日の両日、東京・吉祥寺にある都立井の頭恩賜公園で、池の水の入れ替えと同時に、外来魚の駆除等を行う、かいほりが実施された。かいほりが行われたのは2014年以來2回目のこと。

東京都や武蔵野市などで構成する井の頭恩賜公園100年実行委員会が実施しているものが、都や市が井の頭池の浄化に本腰を入れるようになったのは東京吉祥寺ライオンズクラブ（矢島武志会長／67人）の働きかけがきっかけだった。



04年に結成された東京吉祥寺ライオンズクラブは結成当初から井の頭池の水質浄化に取り組みことにした。神田川の源流でもある井の頭池だが、時代の流れと共にどんどん汚れ、ヘドロがたまり、アオコが発生して異臭を放つまでになってしまっていた。だが、単一クラブの活動だけで池を浄化することは不可能に近い。そこでクラブでは市民や行

政を巻き込んでいくことを考えた。最初はシンポジウムなどを開き、クラブ自ら水質浄化について学ぶと共に、市民にもその必要性を訴えた。

その後クラブでは、メディアで取り上げられていた群馬高専の小島昭特命教授の協力を得て、炭素繊維を用いた水環境保全活動を実施することにした。木炭と釘鉄を炭素繊維で編んだ袋に入れ、竹で組んだ筏につり下げた。これによって、水質改善の効果が目に見えるという。実は、この木炭をドネーションしたのが、当時はまだ無役の近藤正彦330複合地区協議会議長（東京八王子陵東ライオンズクラブ）だった。近藤議長は奥多摩から吉祥寺まで炭を運んだ。この縁もあり、近藤議長は今回のかいほりにも応援に

クラブ レポート

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57号下。



←かいほり参加者にはクラブで作ったバンダナをしてもらっている

駆け付けた。

この炭素繊維筏はある程度の効果があったが、井の頭池は広大であるため、限定的な水質改善にとどまっていた。しかし、この活動により、市民や行政の目を井の頭池に向けさせることに成功。徐々に行政も本腰を入れて池の水質改善に取り組むようになった。

14年、市民ボランティアを募り、初のかいほりが実施された。そして、近年確

認されていなくなった湧水が少しずつだが、出るようになったのだ。10年以上にわたり、水質浄化に取り組んできたクラブの努力が実を結び始めた瞬間だった。クラブでは今回も豚汁の炊き出しを2日間実施。かいほりで冷えた体を温めるおいしい豚汁に参加者の顔はほこ

ろんでいた。

17年に都立井の頭恩賜公園は開園100周年を迎える。その時、井の頭池が奇麗な池になっているよう、クラブでは今後も努力を続けていく。行政と市民を巻き込み、不可能と思われたことに挑戦し続ける、東京吉祥寺ライオンズの思いが、井の頭池の環境を改善している。

取材／井原一樹 撮影／関根 則夫



336-B地区

鳥取ライオンズ倶楽部

子どもも職員もライオンも 本気で楽しむ卓球大会



今年も待ちに待った季節がやってきた。社会福祉法人鳥取子ども学園の子どもたちがこの1年、首を長くして待っていたのは「鳥取ライオンズクラブ杯鳥取子ども学園卓球大会」。今回で26回目を数えるこの卓球大会

は、同学園の創立記念日（1月13日）を祝い、鳥取ライオンズ倶楽部（井上仁会長／40人）の提案で始まったもの。体育館には3台の卓球台が並び、それぞれ小学生の部、中学生の部、オープンの部に分かれ

て競技が行われる。唯一ダブルスで試合が行われるオープンの部には、高校生や職員の他、ライオンズの姿もちらほら見える。子どもに負けないほどの元気なプレーを披露したライオンたちは、学園の子どもと一緒に楽しい時間を過ごした。

鳥取子ども学園は、震災孤児の受け入れ先であった鳥取孤児院をルーツに持つ児童養護施設で、創設は1906年と古い。

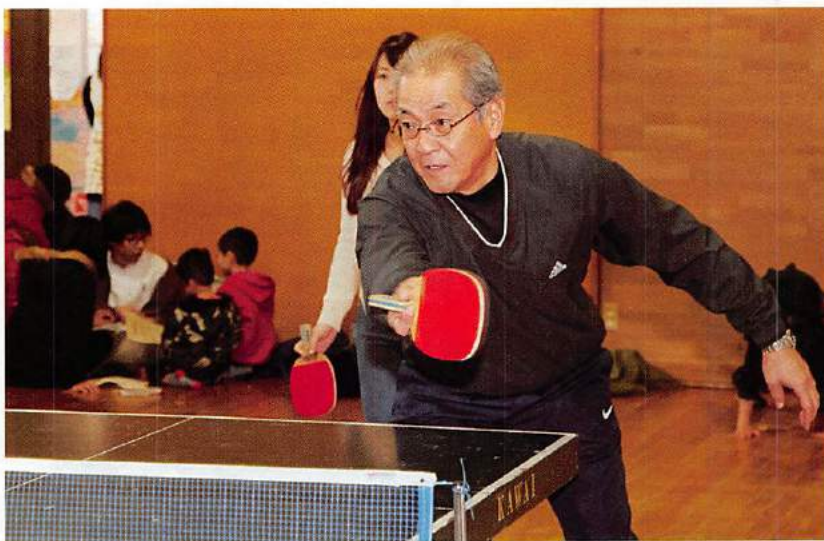
「現在ここには家庭の事情により親と生活を共にすることが出来ない子どもが多く生活しています。何らかのコンプレックスを抱えている子が多いので、普段の生活の中での成功体験を多くして自尊心を取り戻してもらえようという工夫をしています」と話すのは、鳥取子ども学園の藤野興一園長。そんな学園で昔から人気があるのが卓球だ。戦時中から食卓代わりの卓球台が1台あり、こぞつて卓球をして遊んでいたという。その伝統は今に受け継がれており、市立東中学校の卓球部員は同学園の子どものちが占めるほど、ここでは卓球が盛んである。

そんな事情を知ってか、学園の前理事長に鳥取ライオンズ倶楽部の当時の会長がこんな提案をした。「子どもたちと交流出来る事業がしたい。何か出来ることはないだろうか」

この申し出がきっかけで、鳥取ライオンズクラブ杯の卓球大会が行われるようになった。ライオンズからは毎回、大会運営費として協賛金を寄贈。また、

卓球大会以外にも、子どもたちにお菓子作りを体験してもらったり活動も長く続けている。だからライオンズのおじさんは、子どもたちにとってなじみの顔なのだ。

開会式の後、早速競技が行われた。ルールは1試合3ゲーム制で2ゲームを取れば勝ち。1ゲームは11ポイント制。スコアが10対10になった時は、以降連





続ポイントを取った方の勝ちとなる。
 真剣な表情でゲームに臨む子どもたちに対し、ライオンズ勢も大活躍したオープンの部の卓球台からは、終始歓声上がる。

その盛り上がりを見ている、大会を待ち望んでいたのは、子どもたちより、むしろ大人の方だったようだ。
 (取材/砂山幹雄 撮影/宮坂惠津子)

336-D地区

山口県・大島、大島中央、大島オレンジライオンズクラブ
手書きの年賀はがきを通じて



近年、インターネットや携帯電話がめまぐるしく普及・発展しており、手で書く機会が減ってきている。そこで、言語力・表現力の向上と、コミュニケーション能力の育成をしながら、「ぬくもり」を感じる手書きの文字による手紙の文化を子どもたちに残したいという強い思いで、2015年12月2日、周防大島町教育長室で大島ライオンズクラブ(22人)、大島中央ライオンズクラブ(16人)、大島オレンジライオンズクラブ(21人)は年賀はがきを小学校児童に贈呈した。対象

としたのは周防大島町内の全11小学校の児童484人。1千枚を贈呈したため、1人2枚の計算になる。この日は大島ライオンズクラブの会員でもある西川敏之教育長から年賀はがきの伝統と歴史についても話があった。12月9日には安下庄小学校3年生の児童8人に年賀はがきの書き方の授業を行った。ライオンズクラブの活動と年賀はがきの歴史についての説明の後、担任の先生が手紙を書き、伝え合う喜びの大切さを語り、宛名の記載方法・場所等についても子

どもたちに分かりやすく教えてくださった。12月22日には安下庄小学校1年生の児童12人が手書きの年賀はがきを橘郵便局のポストに投函した。今回の施策で教育長、校長を始め大勢の学校関係者の協力により子どもたちが楽しく年賀はがきを書いてくれたこと、3ライオンズクラブ合同事業が果たすことに対し深く感謝している。(大島ライオンズクラブ会長/松岡利明、大島中央ライオンズクラブ会長/瀧本和宏、大島オレンジライオンズクラブ会長/竹田茂伸)

2015年12月5日、尼崎ライオンズクラブ(38人)は県立尼崎総合医療センターで、ハンドベル院内コンサートを開催した。「妙なる調べ」という言葉がある。「名状しがたい程すばらしく霊妙なる音色」のことである。この言葉はハンドベルの音色を表現する時にこそふさわしいものだった。それほど澄み切った音色だった。

335-A地区

兵庫県・尼崎ライオンズクラブ

兵庫県立尼崎総合医療センター
院内コンサートを開催



けているのを見たから、余計にそう感じたのかもしれない。定番のクリスマスソングや「どなりどりのトトロ」、「ドラえもん」のテーマなどが流れていた。実はこのアクティビティは2年半前に解散した尼崎北ライオンズクラブが毎年実施していたものである。解散後3人が当クラブに転籍した。そのメンバーからこの院内コンサートを引き継いでほしいとの要請があったため、当クラブの事業として継続させて頂いている。

演奏をしてくれたのは、関西学院大学付属中学・高校のPTAのお母さん方により結成されているグループ「ホーリーベルズ」。今回のハンドベルも関西学院大学から借りたものだ。さまざまな方のご協力があったこの演奏会が実現出来た。第2部は1階講堂で行われ、今度は成人向けの演出。「聖母マリア教会の鐘」や「パッサパストラール」など12曲が演奏された。入院中の患者さんが多数集まってこられ、師走のハンドベルの妙なる調べを楽しんで頂いた。(会長/木村立夫)

京都錦ライオンズクラブ

クラブ構成が変化し生まれた 新事業「輪〜い京都」



2015年11月15日、京都錦ライオンズクラブ（桑島千鶴会長／41人）は京都市中京区のウイングス京都イベントホールで第1回「輪〜い京都」を開催した。併せて、お茶会も開催。多くの方にお抹茶も楽しんで頂いた。

今年度は、当クラブに40歳代の若い経営者が11人入会。平均年齢が今までの60歳代後半から50歳代前半へと変わった。クラブ内での年齢差が大きくなったため、老若男女が活躍する場へと大きく変革出来た。そこで、市民と共に老若男女の元気を作

ることを目標に、皆が輪になって楽しめる催しを企画した。

当日は子どもたちが唱歌合唱や、チャダンスを発表し、中学生もダンスを披露。熟年世代は合唱や手品に加え、着物のファッションショーなど京都ならではの催しも実施された。また、羽佐々木博子が琴の演奏とコラボレーションをし、枕草子の語りを披露するなど、多種多様な内容となった。約130人の出演者が日頃の練習の成果を存分に発揮する、あつという間の3時間半だった。

今回の輪〜い京都は天候にも恵まれ、ブラザー・クラブの会長、幹事の皆様にもお越し頂き、来客数も約200人と大成功に終わった。初めての企画だったため少し心配をしていたが、メンバーが一丸となって取り組んだことで仲間意識も芽生えたと思う。たくさんの方に参加して頂いているフリーマーケットやカップリングパーティーに加え、この輪〜い京都を今後も継続事業とし、多くのひととの触れ合いを通じ、社会に貢献していきたい。（事業委員長／赤木彰）

2015年12月24日、青森ZEROライオンズクラブ（22人）は「サンタが家にやってくる」というアクティビティを実施した。クリスマスイブに、親御さんが用意したプレゼントを、我々がサンタクロースに扮して各家庭に届けるというものである。当クラブは、まだ結成3年目であるが設立当初からこの事業に力を入れ、今期は102軒の家庭に210個のプレゼントを届けることが出来た。プレゼントを渡す一瞬のために、9月初めから念入りに準備する。子どもた

ちの笑顔とサンタへの手紙が最高の励みとなる。

だが、この事業の目的はそれだけではない。一般の方々にもスタッフとして協力してもらおうことに意義がある。我々だけが奉仕をして満足するのではなく、奉仕の喜びを一般の人たちにも伝え、分かち合うことこそ、ライオンズの活動目的であると思う。また、子どもたちが将来大きくなった時に、我々の活動を思い出し、そこから奉仕の心が芽生えてくれたら、冥利に尽きるのでないだろうか。

青森ZEROライオンズクラブ

奉仕をする喜びを伝える サンタが家にやってくる



当事業は、地域の方の参加と家庭の協力があって成り立つ。参加した人たちは、ほほりピーターになってくれるし、この事業を聞きつけ「来年は参加させてほしい」と申し出る人も少なくない。昨今、会員拡大・家族会員増強が重要視されているが、感動のある奉仕活動が続ければ、即効性はなくとも、質の高い会員増強が図れるのではないだろうか。クラブ・リポート欄で他クラブの事業を参考にし、今後も感動のある奉仕を続けていきたい。（会長／藤森直宏）

333-B地区

栃木県・下野ライオンズクラブ

国際協会100周年を記念して
さまざまなイベントを開催中



下野ライオンズクラブ(67人)は来期、結成40周年を迎える。当クラブの節目が国際協会の100周年と同じ年ということもあり、全力で周年イベントに向けた企画に取り組んでいる。中でも、長年継続している青少年育成のナイター学童野球大会、キッズサッカー、県南剣道大会、駅伝競走大会などには力を入れている。また、地元で恒例となっている夏の盆踊り大会では来場者全員に麦茶のサービスを実施して、参加した方々に喜ばれている。

夏秋を通して、各種スポーツ大会を開催し、青少年育成活動に力を入れている。明日に飛躍する子どもたちが、スポーツを通して多くの体験により、喜び、感動し、友情を育んでもらい、すてきな大人になってもらいたいという気持ちからだ。また、メンバーも汗をかいてアクティビティを実施することで、多くの学びと感動を一緒に受けることが出来るのだ。

15年からは100周年記念フラッグを会場に掲げてアクティビティを実施している。これにより、メンバーの士気が上がっており、通年のアクティビティ参加が増すなど、多くの成果が出ている。そして、今年のアクティビティでは新たに婚活イベントを実施するため、会員一丸となって企画の実現に向けて知恵を出し合っている最中だ。当クラブでは今期の会長スロージャーガン「LASK ONE 家族会員」奉仕の輪と人の輪と大きな絆を太く永く強く。」を胸に、会員増強に向けて積極的に進んでいる。(会長/青木重雄)

柏崎日本海ライオンズクラブ(伊部浩明会長/51人)は2015年11月14日、柏崎市立第一中学校体育館で、ソフトテニス教室「2015ステップアップtheソフトテニスin柏崎」を実施した。この事業はライオンズクラブ国際協会100周年の記念事業で、柏崎刈羽の子どもたちを対象としたものだ。当クラブは、青少年の健全育成を目的として、毎年4月、中学生を対象にソフトテニス大会を開催している。今回は子どもたちのレベルアップ、未来の日

333-A地区

新潟県・柏崎日本海ライオンズクラブ

未来の日本代表選手選出を願い
ソフトテニス教室を実施



本代表選手選出を願い、全日本チームでも多くの選手が活躍している(株)ナガセケンコー女子ソフトテニスチームを講師に招き、子どもたちに直接指導をして頂いた。午前は小学4年生以上のジュニアの選手、中学生男女選抜選手を対象に、準備体操のアップから基本動作、ダブルスの動き方、ボールに対する体の向きなど、プレーする上での基本となるような指導を実施した。午後

は高校生男女選抜選手を対象に、厳しいアップから開始。その後、子どもたちと選手が本気でボールを打ち合い、グラウンドストロークやスマッシュの体幹の使い方、ボレーからの動きと詰め方、前衛と後衛に分かれての指導などを行った。最後には、指導して頂いたナガセケンコーの選手たちによる模擬試合も実施し、地方ではなかなか見ることが出来ない日本トップクラスの試合を目の前で観戦。参加した子どもたちにとっては、頂点への目標を感じた1日となったのではないだろうか。(久我重雄)

335-B地区

大阪府・堺フェニックス ライオンズクラブ

小学生を対象に 環境保全アクティビティを実施



2015年11月4日、堺フェニックスライオンズクラブ（11人）は小学校で花壇の植栽を実施した。当クラブが植栽アクティビティを実施するのは今年が2回目。最初に行ったのは14年夏だ。国際平和ポスター・コンテストで交流のある小学校のPTAの方々から、夏休み中の水やりが大変で、寂しい花壇になって困っていると聞いたことがきっかけである。そこでスプリンクラーを花壇に設置し、夏場の水やりの問題を解決。土壌の改善を行い、草花の種類も一

年草、多年草などさまざまなものを選定し、いつも草花が植わっている花壇作りに取り組んだ。そして今期も平和ポスターで交流がある別の小学校への植栽を実施した。夏頃から、学校との話し合いを重ね、事前に花壇の土の整備（雑草抜き、耕し、肥料の散布）を行う。当日は子どもたち、先生、PTAと共に草花を植え込んだ。花壇は前回より大きかったが、総勢50人余りで取り組んだため、30分程度で出来た。メンバーに業者がいるため、草木、土壌の準備、花

の取り扱い方、植え込み方、その後の一年を通しての水のやり方、手入れの方法など、園芸に必要なことを、詳しく、分かりやすく教えることも出来た。皆メモを取りながら真剣に説明を聞き、草花を優しく丁寧に扱い、楽しく植え込みを行った。晴天の下での花壇作りで、子どもたちからたくさんパワーをもらった。今後もこの事業を継続し、命の尊さ、育てることの難しさ、大切さ、はかなさを共に学んでいきたいと思っている。（会長／中西美智子）

八街ライオンズクラブ（12人）は、2015年10月25日、八街市内全域のカーブミラー清掃を実施した。今年で20回目だ。毎年同じ時期に実施しているこの事業、カーブミラーを補修する仕組みはあるが、清掃は行われていない内情をクラブが知ったことから始まった。当初、メンバーのみで実施していたが、現在はボランティアの方々にも協力してもらっている。カーブミラーの場所を示した地図の作成や、担当の割り当てには手間がかかるが、八街市内全てのカーブミラーを

333-C地区

千葉県・八街ライオンズクラブ

ライオンズデーに真心の奉仕 八街市内全域のカーブミラー清掃



清掃するために必要な努力だ。当日は晴天に恵まれた。メンバーは午前8時に八街市役所に集まり、八街市長、地元の千葉県議会議員、八街市議会議員、佐倉警察署幹部交番所長のあいさつの後、午前8時30分から午前12時まで清掃を実施。八街区長会、八街市役所職員組合有志、八街市建設業災害対策協力会など総勢100人が協力してくれた。毎年ご協力を頂いており、大変感謝している。また、八街市社会福祉協議会からはボランティア保険の加入にご協力頂き、

八街市防災課からは洗剤、軍手の寄付を頂いた。当クラブでは参加者の皆様にお弁当と飲み物を差し入れさせて頂いた。カーブミラーの清掃では破損などの点検も同時に行う。見通しの悪い道路などでは非常に重要な役割を果たすカーブミラー。このカーブミラー清掃を通じて、八街市内全域での交通事故等がなくなることを願っている。これからも当クラブではこの清掃事業を続け、八街市内の交通安全に寄与していきたい。（会長／高山照駿）

3分間 ライオンズ アクティビティ編



保健
糖尿病教育

世界に襲いかかる巨大な敵に挑む

国際糖尿病連合によると、世界の糖尿病人口は爆発的に増え続けています。現在3億8200万人と推定されている患者数は、2035年までに5億9200万人に増加すると予測され、ジーン・クロード・ムバ

ーニャ同連合会長は「糖尿病の影響を受けていない国は無く、この敵に対して全ての答えを持っている国も無い」と話しています。糖尿病は心臓疾患、四肢切断、腎機能障害、視力喪失など深刻な症状の要因となります。また合併症により、8秒に一人が命を落としています。

それゆえライオンズは強い決意をもってこの問題に挑んでいます。糖尿病はとても大きな敵だからこそ、世界中のどのクラブにも自分たちの地域でのニーズがあります。もちろん、日本も例外ではありません。

一つには、糖尿病の予防または早

期発見のため、検診などを実施する活動があります。京都府・綴喜ライオンズクラブは毎年1回、糖尿病網膜症と緑内障の早期発見を目的に町内の50歳以上の希望者を対象とした目の健康検査を実施しています。新潟

県・三条中央ライオンズクラブは献血の際、会員医師による糖尿病教育も併せて行います。

糖尿病の予防や健康維持には毎日の運動が必要です。国際協会が推奨する糖尿病教育プログラムの一つ、Stridesイベントを開き、ウォーキングやダンスなどで無理なく楽しく運動しつつ糖尿病について学ぶ機会を提供することも考えられます。毎年国際大会でもStridesイベントが開催されています。国際協会は11月をライオンズ糖尿病教育月間と定めており、11月14日は世界保健機関と国連糖尿病連合が定めた世界糖尿病デーです。これに併せて事業を企画するのもよいでしょう。

更に、小児糖尿病患者が自己管理に必要な知識やスキルを身に付けると共に、精神的なケアの場となるキャンプを支援することも有意義な活

動です。広島ロイヤルライオンズクラブは25年にわたり患者と家族の会のサマーキャンプを支援しています。

糖尿病関連事業は、LCIFが優先する四つの奉仕分野を扱う四大交付金の対象にもなっています。地区または複合地区が、広範囲で多数の人々に役立つ活動に取り組み事業などで四大交付金を申請出来ます。また、LCIFの視力ファースト事業でも糖尿病網膜症を取り上げています。95年以来、糖尿病網膜症が特に深刻な状況にある11の国で、その予防や治療のための啓発活動、検査、外科手術、専門家の訓練などを行っています。日本では95年から3年間にわたり、先進国を対象とした視力ファーストのアイヘルス・プログラムが実施され、先進国の2大失明原因である緑内障と糖尿病網膜症の啓発活動が行われました。



トロント国際大会で開催された糖尿病予防ライオンズダンス

LCIF FILE

LCIF Development Update

LCIF Development Update

LCIF創設50周年記念目標 後期初年度④

今

年度も上半期が終わり、後期初年度の折り返し点となりました。活動

が鈍る期末3カ月と直近の動向から、達成率は67%以上、また先月との達成率の比較では12%以上が、順調と言えます。しかし、左の一覧表のように大きな格差が生じ、厳しい状況です。

達成率では336・B地区(94・3

%)をトップに80%台(3地区、70%台(7地区、67%以上(2地区(計13準地区)が、複合地区では335(73・0%)、336(72・7%)、334(69・4%)の3地区がクリアしましたが、日本全体は64%で未達でした。

先月との比較では、335・D地区(21・7%増)を筆頭に334・A、336・A、337・C、335・B、334・

C、330・Cの7地区が、複合地区では334(16・2%)、335(12・6%)の両複合地区が12%増となりました。

今回から一覧に一人当たり献金額を入れました。334・A(210・17^{ドル})、330・B(95・15^{ドル})、335・B(91・03^{ドル})と続きますが、20^{ドル}未満が3地区あり、大きな開きがあることも分かっています。複合地区別でも334(101・81^{ドル})から337(35・75^{ドル})と3倍の開きが生じました。

これを前年同月比で見ますと、334・D(+28・27^{ドル})、335・B(+23・10^{ドル})、336・A(+17・01^{ドル})、336・B(+13・38^{ドル})、335・D(+12・22^{ドル})を含む14地区、複合地区では336(+18・41^{ドル})を含む3複合地区がプラスでした。

ぜひ福岡国際大会で「LCIF世界一」に返り咲きたいものです。(LCIF国際委員、エリア・コーディネーター/桜井孝一、澁田繁晴)

LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と献金実績・目標達成への必要額(ドル) 2015年12月31日現在

地区	初年度目標額	献金実績	達成率	1人当たり	MJF	目標達成必要額
330-A	296,162	156,878	53.0%	34.14	80	139,284
330-B	550,133	396,674	72.1%	95.15	282	153,459
330-C	109,191	71,337	65.3%	35.33	39	37,854
330複合	958,389	624,889	65.2%	57.95	401	333,500
331-A	301,245	137,650	45.7%	60.67	110	163,595
331-B	143,217	43,965	30.7%	19.57	28	99,252
331-C	61,401	45,436	74.0%	27.59	28	15,965
331複合	512,244	227,051	44.3%	36.85	166	285,193
332-A	94,992	67,210	70.8%	38.41	38	27,782
332-B	98,629	56,940	57.7%	35.15	29	41,689
332-C	125,341	62,005	49.5%	46.38	52	63,336
332-D	189,278	141,610	74.8%	73.07	129	47,668
332-E	62,551	36,779	58.8%	22.17	30	25,772
332-F	41,050	21,630	52.7%	19.92	20	19,420
332複合	622,862	386,174	62.0%	41.13	298	236,688
333-A	155,669	85,360	54.8%	32.86	53	70,309
333-B	114,588	72,196	63.0%	62.89	61	42,392
333-C	201,343	160,940	79.9%	52.61	130	40,403
333-D	150,671	105,919	70.3%	62.82	86	44,752
333-E	296,510	159,850	53.9%	58.57	137	136,660
333複合	955,151	584,265	61.2%	52.07	467	370,886
334-A	1,281,309	964,040	75.2%	210.17	931	317,269
334-B	311,692	154,670	49.6%	49.78	135	157,022
334-C	268,425	167,152	62.3%	55.85	132	101,273
334-D	286,345	255,097	89.1%	67.33	209	31,248
334-E	245,159	119,000	48.5%	65.10	117	126,159
334複合	2,393,389	1,659,959	69.4%	101.81	1,524	733,430
335-A	111,712	66,930	59.9%	33.96	58	44,782
335-B	571,240	466,826	81.7%	91.03	374	104,414
335-C	319,259	205,094	64.2%	55.00	146	114,165
335-D	129,468	90,192	69.7%	52.04	71	39,276
335複合	1,135,236	829,042	73.0%	66.00	649	306,194
336-A	275,358	222,608	80.8%	43.98	156	52,750
336-B	115,970	109,408	94.3%	37.65	42	6,562
336-C	251,183	174,641	69.5%	55.62	120	76,542
336-D	147,352	96,018	65.2%	31.75	55	51,334
336複合	829,098	602,675	72.7%	42.65	373	226,423
337-A	388,105	181,083	46.7%	41.86	195	207,022
337-B	176,808	76,895	43.5%	35.75	59	99,913
337-C	196,355	125,812	64.1%	45.08	96	70,543
337-D	126,273	44,440	35.2%	19.94	35	81,833
337-E	83,174	37,340	44.9%	24.49	28	45,834
337複合	993,633	465,570	46.9%	35.75	413	528,063
全国	8,400,002	5,379,625	64.0%	57.49	4,291	3,020,377



ライオンズがリオブランコに建設した校舎

を支援してくださった寛大なライオンズの皆様にお礼申し上げます

とフロレンシオ・カラソツサ市長。

「ライオンズは教育を受けられるようにしてくれました。教育は未来への希望です。私たちは、心から感謝しています」

▼青少年支援

LCIFのライオンズクエストは12学年を通じて、生徒たちが人格形成、いじめの防止、薬物乱用防止に関する知識や、奉仕について学ぶプログラムです。

ネブラスカ州オマハにあるクーパー・ビレッジは、注意欠陥多動性障害、双極性障害、重度のうつ病、行為障害や反抗挑戦性障害などの行動障害を持つ生徒たちが寮生活を送る精神科治療施設です。ここでは全てのクラスで毎日持たれる自己啓発の授業で、思春期版ライオンズクエストが取り入れられています。

「私たちはこのプログラムを高く評価しています。その効果は薬物乱用防止だけではありません」

クーパー・ビレッジでライオンズクエストに取り組む、ラッシユ・ウォール教諭は言います。

「授業は生徒たちが人の話を肯定的に聞くという、効果的なコミュニケーションの取り方からスタートします。これは多くの子どもたちが必要としているスキルです。子どもたちは互いに敬意を持

って話をすることを学びます。それから、彼らがいかに特別な存在であるかを示すことで自信を持たせ、肯定的に自分を捉えることの重要性へと進んでいくのです。

これを学んだ大勢の生徒たちが学校や家や地域社会で小さな成功を重ねていきました。私はこうして彼らが感情的また社会的なスキルを構築していくのを手助け出来て、とてもうれしく思っています。どの単元も、生徒たちに感情や、物事に肯定的に対処する方法を教えられるようにデザイン



学校で人格教育を行うライオンズクエスト

準備が出来ていなかったからです。でも彼らの意気は高く、その能力と責任感を見て、私はうれしい驚きでいっぱいになりました。スタッフの車の中で彼らは、どうやって変速させるかといったことを互いに教え合っていました。

この授業で教わるのは子どもたちにとって不可欠なもので、生活の中で頻繁に起こる事象です。それは薬物の危険を教えるだけでなく、彼らが人生で前向きな選択をするた

されていて、子どもたちがより良い生活を送ることが出来るように導きます。

私は、問題児だったアンデイのことを思い出す度に笑みがこぼれてしまいます。ある生徒が別の生徒をいじめた時、アンデイは『自分のろうそくを輝かせるために、人のろうそくを吹き消す必要はない』と、これに加わりませんでした。

奉仕を学ぶ単元で、私には気掛かりなことがありました。というのも生徒たちは私たちと一緒に閉じられた世界の中におり、地域社会に出ていく準備が出来ていなかったからです。でも彼らの意気は高く、その能力と責任感を見て、私はうれしい驚きでいっぱいになりました。スタッフの車の中で彼らは、どうやって変速させるかといったことを互いに教え合っていました。

めの日々のスキルを学ぶものでもありません。

楽しく学び実践していくことは、私たちが難しい年代の子どもたちとの距離を縮めていくことにもなります。それゆえこのカリキュラムは、私たちにとって何にも勝るものなのです」

▼はしか撲滅

LCIFは、世界の中でも特にニーズの高い地域ではしかの予防接種を実施し、はしかによる死亡を減らすために、金銭的支援とボランティア活動を行っています。



LCIFははしかによる死亡を減らすために活動している

ザンビアのライオンズは2度目のアフリカ・ワクチン接種ウィークに参加し、政府の担当省とパートナーシップを結びました。ライオンズは2万枚のチラシを印刷し配布しました。

ライオンズはこの期間に、両親がワクチンについて学び、家族で予防接種の重要性を話し合うよう促す活動をしました。彼らは各家庭や市場、バス停などを巡り、地域住民一人ひとりと話をしました。メガホンを使って予防注射の重要性について伝えることもしました。

ライオンズはまた、アフリカ・ワクチン接種ウィークに予防接種を行うと共に、公衆衛生を広める活動をしました。その週の終わりまでに141人のライオンズ・メンバーが省の医療チームを手伝い、7850人以上の子どもに予防接種を施しました。

「ライオンズはまるで歩兵のようです。広報の先頭に立ってチラシを配り、旗を掲げ、混み合う人々の交通整理までしてくれました」

と、ザンビアのクリスティーン・カンソデ元地区ガバナーは言います。

「まさに『ニーズのあるところに、ライオンズがいる』です」

▼視力保護

ライオンズはさまざまな方法で視力保護に取り組んでいます。LCIFはそうしたライオンズの活動を、視力ファーストなどのプログラムを通じてサポートしています。視力ファーストはライオンズが打ち立てた包括的な視力保護システムで、地域で十分なサービスを受けられない人々の失明予防や、視覚障害者のケ

アを行っていません。エンサイトはコロラドにある公認の低視力クリニックで、2001年の開設当初からフォート・コリンズライオンズがサポートしてきました。13年、LCIFはコロラド州全域で移動低視力サービスを進めるために、3年間の視力ファースト・プロジェクトとして交付金20万50ドルを拠出しました。

専用車両はコロラド全域を走り、低視力のためのリハビリ・サービスを提供して回ります。290人以上の患者がリハビリを受け、100人以上のライオンズがボランティアとして参加しました。

「以前の私は転ばないように前かがみになって歩いていました。怖くて何もする気になりませんでした」

と、交付金の恩恵を受けた一人、モーリン・サンフォードは言う。



モーリン・サンフォード



ライオンズからの食糧支援を受け取り喜ぶ、ネパールのサンプ・バハダー・バハンダリ

「でも、エンサイトとコロラドのライオンズのおかげで、背筋を伸ばし、第二の人生へと前進することが出来るんです」

▼災害支援

LCIFの緊急援助金は、災害が発生した際にライオンズやパートナーとなる組織の救援活動をサポートします。LCIF大災害援助金は、国際的な影響を及ぼす規模の災害発生時に拠出される交付金です。

76歳のシャンブ・バハダー・バハンダリは昨年4月にネパールで大地震が発生した後、村の上をヘリコプターが飛んでいくのを見ました。なのに誰も助けに来てはくれません。そんな中、最初に村を支援したのは、地元のライオンズクラブでした。

「彼は涙を浮かべて我々に近づいてきました。食料の入った袋を片手に、もう一方には毛布とテントを持っていました。彼はライオンズをハグし、喜びを語りました。これでやっと彼の二人の孫が食べものを口にし、雨風をしのぐことが出来ると。」

彼の言葉に、我々ライオンたちは静まりかえりました」ととパンカジャ・ラドハム元325複合地区議長。

「我々は顔を見合わせました。それは私たちにとってとても辛く、しかし同時に心温まる瞬間でもあったのです。

あの時あそこで、人々を助ける機会が持てたことはとても幸運でした。ライオンズであることはいつでも私たちの誇りであり、自分たちがほん

とうに社会に変化をもたらすことが出来るのだと実感するのです」

▼奉仕を受けた人々の言葉

「ブラジルのライオンズクラブに感謝します。私たちがアスリートとして信じてくれて。皆さんは、私たちが輝く機会をくれました。皆さんを驚かせることはあるかもしれませんが、決して失望はさせません」——レティシア・エリアス（ブラジルのスペシャルオリンピックスのアスリート）

「病気を回復に導くのは薬だけではありません。地域社会



マリアン

への復帰も大切なことです。LCIFが地域社会で行っているサポートに感謝します」——ジャン・カルロス医師（エクアドルのテラン・クイト・ロス・オウボス・メディカルセンターで）

「手術キャンプが開設されると聞いた時、私は妊娠していました。2日後、手術を受けると決断。夫が私をロバに乗せてヘルス・センターに連れてきてくれました。今、私の目は良好です。赤ちゃんの世話をすることも出来ます」——チャドで逆さ睫毛まつげの手術を受けたマリアン

特集…追跡・東日本大震災VI

東日本大震災から5年、 被災地の本格復興へ向けて

震災から5年。被災地では復興事業が進む一方、いまだ18万人を超える人々が避難生活を送っている。避難が長期化する中、被災地のライオンズは現状と向き合いながら地域再生のために奮闘している。



高田松原跡地に立つ震災モニュメント「奇跡の一本松」

被災クラブの3・11とライオンズ活動

——3月11日で東日本大震災から丸5年となります。この節目の年に当たり、改めて被災クラブの活動について伺いたいと思います。

伊藤 はい。その前に、まずは全国、全世界のライオンズを始めとした皆さんから、物心両面のご支援を頂いたことに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、2011年の3月11日ですが、当時私は陸前高田ライオンズクラブの会長を務めていました。ライオンズイン全てが寸断されている中、最優先で取り組んだのは会員の安否確認でした。しかし、直後は電話もつながりませんし、避難所などで顔を合わせた会員や知人と情報交換をしなから、会員手帳に会員の安否と被害状況を書き留めていきました。その結果、家族会員5人を含むメンバー12人と、同居の親族9人が亡くなり、会員関係だけで21人の方が犠牲になったことが分かりました。

そうした中、3月24日に高台にあった会員の家で三役会を開きました。その間にも、各地のライオンズから少しずつ連絡が入り始めていました。特に姉妹クラブの秋田県・比内ライ

オンズからはいち早く支援物資が届き、更に同じ「高田」のよしみで親しく交流していた大分県・豊後高田ライオンズ、奈良県・大和高田ライオンズからも連絡が入りました。内陸のブラザー・クラブも支援に駆け付けてくれ、ライオンズの仲間に支えられていることが大きな励みになりました。当初はライオンズは統けられないという会員もいたのですが、全国の皆さんから応援頂いたので、とにかく我々に来ることから始めようということになりました。実際にはまず集まることが最初のステップで、活動はライオンズからの支援物資を受け入れて配布したり、災害対策本部へ搬入したりということが中心でした。

ほとんどの会員は何らかの形で被災していました。身内を亡くした人もいますし、多くの会員が住み慣れた家を失い、また会社やお店、商品従業員まで亡くして、生活の基盤を失っていました。本当に大変な思いをしながらがんばったんだあと、今振り返っても涙が出る思いです。

佐藤 本当に全国、全世界の皆さんとりわけライオンズの同志の皆さん

には物心両面にわたってご支援頂きました。改めて、震災以来、多くの皆さんにご支援を頂いたことに、心から感謝申し上げます。

私は2011年の7月から南三陸志津川ライオンズの幹事をやることになっていました。その3カ月前の3月11日に被災したことになります。震災前の会員数は34人。震災で会員一人が亡くなり、ご家族を亡くされた方もいらつしやいます。私の場合は店舗と自宅が一緒だったので両方失いましたが、同じような方はたくさんおられますし、自宅だけですが、全員が何らかの形で被災をしました。

当初は会員間の連絡の取りようもなく、安否すらも分かりませんでした。先輩会員が亡くなったことも、人づてに聞いたような次第です。そんな中、避難所などでメンバーと顔を合わせると、生き残った者同士、生きていて良かったという安堵と共に、自然と今後ライオンズをどうしようかという話になりました。皆さんそれぞれの思いを口にされましたが、具体的な話まではなかなか進みませんでした。そのような状況の中で、3月中には隣接する登米市の佐沼、中田両ライオンズクラブからご

座談会出席者

伊藤明彦

岩手県・陸前高田ライオンズ
2011-12年度クラブ会長

佐藤信一

宮城県・南三陸志津川ライオンズ
2015-16年度クラブ会長

三瓶政美

福島県・飯館ライオンズ
2015-16年度クラブ会長



三瓶政美



佐藤信一



伊藤明彦



仮設事務局で開催された陸前高田ライオンズクラブの例会

支援を頂き、更に4月には山形県・米沢中央ライオンズクラブ、千葉ネオライオンズクラブの皆さんなど、次々と支援に入ってください、その後は数え切れないほど多くのライオンズの同志が駆け付けてくれました。

5月11日にはコンテナハウス2棟、倉庫2棟を、当時の田畑英伍332・C地区ガバナー及び八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議のご配慮により寄贈して頂き、その時に多くの会員が集まり、情報交換をしました。例会ではいつも食事と共にするので、その時は青空の下で弁当を食べました。あの弁当の味は忘れられません。

三瓶 飯館村は福島県の浜通りにあります。平均で500メートルと高いため、津波の影響はありませんでした。瓦がずれるなどして、屋根に被害が出た家もかなりあったのですが、花崗岩質の固い地盤なので地震による被害もほとんどなく、3・11の時は沿岸部から約1200人の避難者を受け入れました。

しかし、福島第一原子力発電所で3月12日に1号機、14日に3号機で爆発があり、15日には4号機が水素爆発を起こして大量の放射性物質が村内に降り、そこから大騒ぎとなりました。その時の役場の線量計は44・7マイクロシーベルトという放射線量を記録しました。その時点では、避難の話はまだ出ていませんでしたが、3月19日には300人ほどが集団自主避難の第1陣として、バスで栃木県鹿沼市へ避難を始めました。その後、4月11日になって全村が計画的避難地域に指定され、1カ月の間に避難することになりました。

ライオンズクラブはその間、普通に活動出来る状態にありました。会員数は32人で、私は幹事を務めていました。そうした中、全村避難の際に、水道水からセシウムが検出され、水が使えなくなる事態になりました。

した。332・D地区では東日本大震災の支援物資集積所を猪苗代に置いていたため、そこまで水をもらいに行き、クラブとしてそれを村民に配布する活動を続けました。こうした活動

ライオンズの絆が勇気をもたらした

伊藤 ありとあらゆるものが流され、電気も無い水道も無い最悪の状況で、落ち込むこともありましたが、気持ちの前向きになったのは意外と早い時期だったんだなあ、と5年が経った今、当時を思い出しています。1カ月後の4月13日には青空の下ですが、例会を開いていますし、4月22日の夜には、山手のスナックで2回目の例会を開いて意見交換をしました。

ライオンズクラブの事務局も海に近かったので、資料等全てが流されました。幸い、事務局を引き受けていたメンバーは無事だったので、その後、332・B地区の尽力でプレハブの事務局を設置してもらい、5月17日にはクラブの拠点が出来ました。追跡取材の第1弾としてライオン誌の取材を受けましたのも、仮設事務局が出来たこの5月17日でしたね。その後、7月17日には、震災で亡くなったメンバー12人のライオンズ葬を山手のお寺で執り行いました。

動を通して猪苗代ライオンズクラブから支援を頂いた他、福島西ライオンズクラブ、愛知県・名古屋城北ライオンズクラブの皆さんともいろいろな形でつながりを持たせて頂きました。

——震災当初から、市民も含めて被災された方たちが前向きな気持ちになつていったという話は、追跡取材の中で佐藤さんからも伺ったことがありました。しかし、2年経った頃の取材で、写真館を経営されている佐藤さんが「ファインダー越しに見る町の人たちに、不安の色が濃くなっているのを感じる」と言われていたことが印象に残っています。

佐藤 1年目は全てを失って落ち込みはしても負けないぞという気概もあったし、全国、全世界からの支援を受け、やれるのではという高揚感もあったんですが、時間が経ち現実と向き合ううちにいろいろと難しい問題が出てきました。

今もそうですが、完全に生活が安定しているわけではありませんし、まだ仮設住宅の方もいらっしやいます。私が家を建てる予定の土地の場合、一番早い人で今年の3月に宅地造成が完了、一番遅い人では12月に

なるんですが、そこからやっと自宅の再建が始まるわけです。復興が進んでいる人もいれば、遅れぎみの方もいる。最初は皆全てを失ったので、同じ気持ちだったんですが、少しずつ復興の歩みは変わってきています。伊藤 今は自分たちの本業を一生懸命やっていると、自宅については現在も仮設住宅の方、自力再建された方が半々ぐらいでしょうか。クラブはクラブで、皆都合をつけて出てきますが、ライオンズの場合、助かるのは任期が1年ということですね。役員になられた方は、会長を始め皆さん一生懸命ですよ。だから、それが終わるとホッと一息。

ただ、福島の場合はまた次元が違うので、別の困難があるでしょうね。佐藤 目に見えませぬしね……。

三瓶 大きな形での被災ではないのですが、全村避難ということで、皆が散らばっていますから、そういう意味でクラブの活動は難しい状況にあります。今のところは月1回の例会は欠かさずに続けていき、更に絆を深めていこうということで活動しています。その後、新会員もあるんですが、亡くなった方や退会された方もおり、震災後に家族会員を積極的に増やすようにしたことで、現在は15人の家族会員を含め会員数は44

人になっています。佐藤 当クラブではお一人が震災の犠牲になられた他、震災後に亡くなられた方が一人、退会された方が二人おり、4人がクラブから去りましたが、新会員が7人あり、震災直後に比べ会員数は4人増えました。震災後によく会員が増えたね、と皆さんからお褒めの言葉を頂きますが、先輩から脈々と続くライオンズ活動を見てくれたのだろうと想像すると共に、今回の震災に対する全国からの支援活動が、若い人たちを引きつけたのではないかと考えています。今、私はちょうど50歳なんですけど、来期の会長はまだ30代前半なんです。

実は来期早々に55周年がありまして、その会長を務めることになりました。——南三陸志津川ライオンズクラブは12年4月に50周年記念式典を開かれましたが、当日は地区外だけで全国14地区から24のライオンズクラブが参加していましたね。伊藤 会場はあったんですか？佐藤 高台のホテル観洋という所が残っていました。伊藤 ああ、ホテル観洋。大きなホテルが残っていたんですね。佐藤 観洋も実際は2階まで被災しましたし、2カ月ほど避難所になっていたもので、その間はホテルとしての利用は出来ませんでした。私も観



陸前高田の「高田大隅つどいの丘商店街」はLCIFの支援を受けた

洋に避難させてもらっていたんですが、水は出ないですし、ホテル住まいとはいえ、なかなか大変でした。伊藤 陸前高田は13年の11月に、再建されたばかりのキャピタルホテルで40周年を行いました。このホテルは海寄りであったので、完全に津波にのまれ、取り壊されて高台に再建されたんですが、立席で300人が限界なんです。本当は県内外から大勢の方をお呼びして現状を見て頂きたかったんですが、姉妹クラブだけで100人になるので断念しました。三瓶 飯館の場合も13年に周年があったんですが、県内あちこちに会員が散らばっているのと、村内では式典は開けませんから見送りました。来年4月が帰村予定で、再来年が40周年になることから、いま村に建設中の交流館で周年式典をやりたいと願っているところですよ。——周年式典に限らず、支援活動を通してつながったクラブとの絆は強いのでしょうか。佐藤 震災前は友好クラブは福島県の川俣ライオンズクラブだけだったんですが、震災後は支援に入ってくださったクラブとの友情が深まり、今では東京ヒルズ、山形県・余目、千葉ネオ、愛知県・春日井の4クラブと新たに友好クラブ提携をしました。

3月には富山チューリップライオンズクラブの20周年にお招き頂いていますが、我々としては感謝の気持ちをお伝えするため、そうした機会を捉え積極的に出向くようにしています。伊藤 我々も同じようなアプローチはいろいろあったんですが、なかなか恩返しが出来ないし、長く続ける体力が今はまだないことと、既に姉妹クラブが三つあったことから、支援を頂いてお世話になったクラブとは、窓口となった会員それぞれに個人でやってもらっている状態です。

とはいえ、ライオンズの活動を続けさせてくれたのは、全国、全世界のライオンズから寄せられた友情の



仮設事務局で開催された南三陸志津川ライオンズクラブの震災後初例会

おかげであることは忘れてはいけな
いと思っています。こうして支援を
して頂いているのに、クラブを無く
すわけにはいかないというのが、会
員の思いでした。震災翌年度の会長
予定者も、被災した当初はライオン
ズを続けるのは難しいと話していた
のですが、結果的には会長を引き受
けてくれ、復興へ向けてのスタート
を切りました。

三瓶 私どもの場合は全村避難が決
まっていたので、とりあえず避難後

人口減少の中、地域再生を模索する

三瓶 ただ、時が経ってさまざまな
話が出る中、最後に話題に上るのは
「戻る」「戻らない」というところ
です。家族の関係、子どもの関係で、
いろいろな思いがあり、戻らないと
いう人も多い。飯館村の震災前の人
口は6千人でしたが、戻るのはその
うちの3割と言われており、避難指
示解除時にはそのまた3割、つまり
人口の1割の600人程度しか戻ら
ないのではとも言われています。
伊藤 本市の場合、亡くなられた方
が1556人、今なお行方不明の方
が205人おられます。更には、震
災後に亡くなった方や県外に避難さ
れた方もいらして、震災前は2万4

も例会を開き、当時の三役が留任し
てクラブを存続させることになりま
した。直接には被災しているわけ
ではないんですが、避難している地域
がばらばらなので、そういう意味で
は大変です。南の南相馬市へ避難し
ている人と北の福島市に避難してい
る人では、100キロも離れているわ
けです。飯館が中間地点ですが、飯
館では例会が開けませんから、例
会の度に皆が遠方から集まることにな
り、それを5年間続けてきています。

千人だった人口が、この間の国勢調
査では1万9千人ぐらいになってお
り、約5千人が減少していることに
なります。

佐藤 南三陸も県内では女川町に次
いで二番目の人口減少率となってい
ます。合併して南三陸町となった10
年前には1万8千人だったものが、
現在は1万3千人に減っています。
震災前から商圏がなくなったと言わ
れていた町で、更に震災の痛手を被
って、その中で事業を再建するのは
大変です。

三瓶 事業所は飯館に置いても、住
まいは福島にするというメンバーも
います。事情が事情なので、それを



LCIF交付金で紙すき道具が贈られた南三陸町の「のぞみ福祉作業所」

戻れとも言えませんし……。そうい
う意味で、今までは何とか乗り切っ
てきましたが、これからの方が大変
なのかなという思いでいます。自主
性に任せるしかないわけですが、住
む地域のクラブにお世話になること
を考え始めた人もいます。でも、飯
館ライオンズクラブとのつながりは持ち
たい、失いたくないというのがみん
なの気持ちなんです。帰村が実施さ
れ本拠地が飯館になれば、それぞれ
50キロぐらいの距離で来られますから
それもありかなという話も出ていま
す。また、今は若い人を誘うののも
ちろん探すのも大変で、役員のみ
手も少ない。そのため、まず家族会



2031年まで宮城県が管理・保存することになった南三陸町の防災対策庁舎

員を増やして、絆を強めてやっています。くしかないと話し合っています。

佐藤 南三陸も若い人たちが出て行ってしまいました。私は志津川小学校のPTA会長をやっていたんですが、震災がなければ11年の4月から450人の児童でスタートするはずでした。しかし、震災で200人が去ってしまいました。6月になれば仮設住宅が完成するから戻って

来るよ、と言われていたんですが、最終的には200人のうち戻ってきたのは50人だけでした。ここ3年は更に顕著な減少を見せており、それまで3クラスだったのが今は2クラス、一昨年は35人の新人児童で昨年は28人、今年は25人の予定です。つまり1クラスしか出来なくなりました。中学も同様にクラス数は減少しています。

三瓶 来年4月の帰村に合わせ、小学校、中学校、幼稚園を全て4月1日に再開したいというのが村長の意向なんです。早いだろうという意見も多いんです。村にあった三つの小学校は現在、お隣の川俣町に合同の仮設校舎を建て勉強しています。その仮設を無くして村の学校を再開すると言うのですが、お子さんを持つご家庭にアンケートを取ったとこ

ろ、飯館に戻りたいという方は17.5%、飯館に戻って学校に通いたいというおさんは4人だけでした。

佐藤 飯館の場合、町並みはそのままなわけですよ。

三瓶 そうですね。ただ、居住は出来ませんから、現在は全員が村の外に仮設住宅か借り上げ住宅に住んでいます。事業所自体は村で再開している所もあるんですが、泊まるわけにはいかないので通っているわけですね。私が施設長を務めている特別養護老人ホームもそうで、利用者は3・11以降もそのまま入所していますが、職員は全員通いです。また、若い人は村で働くのを避けており、私の所も職員不足で、そのために130人定員のところ、今は40人しかお預かりしていません。50人ぐらいのお年寄りが待機しているんですが、職員が戻ってこない限り定員を増やすわけにはいきません。そういう意味では村で働く人をどう増やしていくかが大きな課題です。

伊藤 陸前高田はかさ上げ工事がだいぶ進んでおり、先行地区となっている中心商店街を想定した地域は今年の秋頃から大型店舗を含めて建ち始める予定です。ただ、実際にはどのくらいの商店がそこで営業をするのか不透明な部分も多い。既に仮設

店舗を作って営業をしており、本設で新たな店舗を始めるのは体力的に厳しいのもあると思うんです。商工会では一生懸命誘致をしているんですが、実際に中心商店街に行ける人がどれだけいるか……。会員の中にも自分の代で終わりだから、もういやという方もいたり、仮設でいっぱいいっぱいだという方もいますし、人口も減っているので、商圈として考えるとかなり厳しいのかな、と思っています。

佐藤 南三陸も陸前高田とはほぼ同じで、いろいろな職種のメンバーがいる、私が入っている仮設商店街にも8人のメンバーがいらっしやいます



飯館ライオンズは現在、福島市で月1回例会を開いている

が、商店街を形成しているメンバーは私も含めてまだまだ不安なところがありますね。商店街については、南三陸の場合も陸前高田同様、つい先日、町開きというエリアのかさ上げが終わって、新しい商店街は来年の3月にオープンする予定です。新しい商店街に移る方もいれば、独自の道を歩む方もいらっしやいます。震災前に戻るのとはなかなか難しいと感じます。

はなく除染ですが、山は除染しないという方針が出ており、村の7割を占める山がそのままだと、3割しか除染されないわけです。林業と農業に従事していた方が多いんですが、山の除染がなされず林業が出来ない、また農業も出来ないとなれば、村に戻って何をやるのかということになってしまふ。そうなれば、戻らないという人が出て来きます。人が戻らなければ、商店を開いても成り立たない、若い人も戻らない。うちの施設の場合、震災前は職員の平均年齢が38歳だったのが今は48歳です。

地域やライオンズの絆を強め、防災意識を高める

三瓶 国が村全域を計画的避難区域に指定すると発表した翌朝、飯館で102歳のお年寄りが自殺されました。村で100年暮らし、残りの人生を他所で送るのは嫌だと自ら命を絶ったんです。そういう人たちもいる中では、ライオンズクラブが村を建て直していくための中心になっていかないといけないだろうと思っっています。村長もライオンズ会員ですから、一緒になって考えていくしかないですね。例会で顔を合わせると、厳しいなあ、厳しいなあという話になります。あまりそればかり言っ

ても暗くなってしまうので……。佐藤 南三陸も町長がライオンズ会員なんです。町としてはこのところ、被災した学校が再建された、病院が再開したといった明るい話題が出て来ています。三陸自動車道も平成28年度中には開通する見込みなので、そうなれば仙台から1時間圏内とアクセスが良くなりますし、ハーブ面ではだいぶ整備されたかなと思います。

所もないんです。私どもの特別養護老人ホームが村に残っている唯一の施設なので、先日その周りだけでもと会員が集まって草刈りをしましたが、離れた場所から機械を持って集まって来るのも結構大変です。でも、少しずつでも活動をして、前に向かっていこうと思っています。

伊藤 労力奉仕については、陸前高田も同じです。震災前は、国の名勝に指定されていた高田松原の清掃奉仕をしていたのですが、この松原も津波で流され、今はもちろんありません。また当クラブも最近、津波被害を受けていない特別養護老人ホームで作業をしましたが、こちらは震



LCIF交付金を活用して飯館村の草野・飯桶・白石合同仮設小学校（川俣町）に寄贈されたデジタル地球儀

災前から実施している数少ない継続事業の一つです。

佐藤 子どもも先日、BRTの駅舎の周りと仮設商店街の周りの清掃を震災後初めてやり、少しずつ独自の活動が出来るようになってきました。再開した公立病院には感謝と再建の喜びの気持ちとして、少し早いんですが、来年度の55周年記念事業を前倒しして、院内全ての部屋に置くよう時計20基を贈りました。町の人がこの時計と一緒に、復興の時を刻んでくれればいいなあと思っています。

——最後に、この5年間の経験を通して感じられたこと、将来へ向けての提言などを一言ずつお願いします。
三瓶 飯館は花崗岩の地盤なので地震の被害はないですし、水害もない。それでも、原発事故という想定外の事故に巻き込まれました。そういう意味では、どんなものであれ、災害に対する備えを、クラブとしても行政としても考えておくべきだと思います。今回の震災では連絡が取れずに大変でした。最初の3日間が最も重要ですから、きちんと連携が取れるシステムを構築すると共に、周囲と仲良くしておくことも必要ですね。伊藤 日本だけでなく、いつどこで何が起こるか分からない世の中です。今回の震災では、こう言っては失礼

かもしれませんが、小国からも多くの支援をして頂きました。これは災害があった時に、日本のライオンズ

がLCIFを始めとした支援活動に率先して貢献してきたからこそその結果だと思えます。改めてライオンズ



「山美わしく水清らかな」と始まる飯館村民歌の碑 (飯館村役場)

クラブの重要性を認識しました。もう一つ、これまで本場に多くの支援を頂きましたが、今後は心の支援をお願い出来ればと思います。5年が経過して風化するのが一番心配です。被災地としては忘れられてしまうことを最も恐れています。

三瓶 LCIFに関しては、ホールボデイカウンターを始め、福島には非常に多くの支援をして頂きました。そういう意味で、クラブではLCIFへの献金をやっていこう、お返しをしようよと話しています。

佐藤 南三陸町はチリ地震津波で大きな被害を受け、その時、仙台のライオンズクラブを中心に支援活動をして頂き、それを機に当クラブが結成されました。今回の震災でも、これだけの災害を被ったクラブですから、今後、他のクラブの参考になるようなことをしたいと考えています。形は違っても、日本各地でさまざまな災害が起きていますし、これからも起きると思います。ライオンズクラブのメンバーとしても個人としても、何が必要で、どう備えるべきかを、伝えていきたいと思っています。災害への備えの大切さを伝え、今まで培った友情を更に育んでいきたいというのが今の気持ちです。

(構成/鈴木秀晃)

国際理事 だより



■国際理事
安井克之

(北海道・旭川東)

皆様、こんにちは。私の住む北国は春寒もやや緩み、花の便りが待たれる季節となりました。皆様にはご健勝にてライオニズムの高揚にご精進のこと、何よりとお喜び申し上げます。

国際理事就任から8カ月が過ぎ、月日の経つ速さをつくづく感じております。そして今年度は、日本人として34年ぶりとなる山田實絃国際会長がその任に就かれている特別な1年であります。私は国際理事として山田会長に直接お会いし、ご指導を賜ることが出来、その幸運に感謝している次第です。

会長は人道奉仕におけるグローバル・リーダーであるライオンズクラブ国際協会の長であることを大きな誇りに思われると同時に、常にとても謙虚な気持ちを抱いておられます。アメリカ・オークブルックにある国際本部の国際会長執務室には、会長お気に入りすばらしい絵画や置物、そして存在感のある日本刀と共に、世界各国から送られてきた、たくさんの千羽鶴が飾

成功に向かって前進しましょう

られています。山田会長はこの鶴に會員皆様の成功と、何よりも他者のためにもたらずライオンズの人道奉仕活動が、皆様自身にすばらしい愛と満足感をもたらし、その心が喜びと平和で満たされることを祈っておられるのです。私はそのお姿に感動した次第でありました。

皆様ご存じの通り、山田国際会長のテーマは「命の尊厳と和」であります。このテーマの下、ライオンズクラブには、次代を担う青少年の健全育成、障害者への支援、子どもたちへの飢餓対策と難民への食糧支援、環境保全など、取り組むべき課題がまたあります。私たちの原点である「ウィ・サーブ」の精神をもってこれらに挑んでいくためには、仲間を増やし、そして奉仕をする力を継続的に高めていかなければなりません。

会員増強については今、FWT及びGMTを中心に、日本ライオンズ全体で特に女性と若いメンバーを増やすべ

く、戦略的に取り組んでおります。メンバー一人ひとりがこの活動に理解を深め、行動に移してください。

また奉仕の力の増強については、山田会長は「成功への七つの鍵」を設定。クラブ会長がクラブやメンバーの可能性を最大限に引き出していくためのポイントを提示されています。ぜひ皆様のクラブでも取り組んでみてください。

さて、第99回国際大会が近付いてまいりました。国際大会は今年1年間の活動を報告し、次年度の活動方針を確認し合い、また寛容の精神をもって世界各国の會員相互の理解と親睦を図る大切な機会であります。更に今回は、日本の山田会長が主宰し、福岡で開催される、日本ライオンズにとっては記念すべき大会です。この特別な大会で、この1年間の成果を共に心から祝福し合えるように、全力を尽くしてまいります。皆様お誘い合わせての参加を心から願ひ、福岡国際大会の盛會を祈ってやみません。

LIONS NEWS CASSETTE

100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト

国際協会創設100周年を祝う新たなプログラム「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」がスタートした。100周年を記念して、永続的な遺産として目に見える贈り物を地域に贈ろうというプロジェクトだ。このプロジェクトへの参加には三つのレベルがある。以下のリストにあるプロジェクトや、地域の特定のニーズに対応する独自の計画を策定して参加されたい。



- ・新しいライオンズ看
- ・「レベル1」地域における知名度を高める

板を設置する

- ・記念時計や記念像を捧げる
- ・ベンチや自転車ラックを寄付する
- ・東屋のような人々が集まる場所やピクニックエリアを建設する

【レベル2】地域にギフトを提供する

- ・公園、遊び場、子どものコーナーなどを改装する
- ・地域団体に車両を寄付する
- ・視覚障害者を支援するための設備
- ・交通量の多い交差点に歩道橋を設置する

【レベル3】地域にアピールする

- ・図書館、学校、病院などでライオンズ・ルームを主催する
- ・新しい公園、遊び場、プールなどを作る
- ・職業訓練センターを設置する
- ・地域に病院を設置する

プロジェクトの実施期間は2018年6月まで。パンフレットやFAQ（よくある質問）、企画ガイドを含む詳細は、100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) に掲載されている。

災害救援に新たな選択肢となるLCIFの二つの交付金

LCIF災害援助交付金プログラムは、自然災害の被災地で支援に取り組みライオンズに資金を提供し、その活動を支えている。これまでは緊急援助金（申請地区に対して最大1万ドル交付）と大災害援助金（LCIF理事会が監督）の2種類だったが、昨年8月のLCIF理事会において、新たに防災準備交付金と地域復興交付金が設けられることが決まった。

両交付金の概要は次の通り。

■防災準備交付金…地域の行政当局や組織と協力して将来の救援活動計画や準備を実施する地区に対し5千ドル〜1万ドルを交付する。3年に1回申請可能。緊急時対応のトレーニングや災害対応キットの準備、避難所の事前支援などの事業が対象で、交付金申請額の最低10%は地元で資金調達を行わなければならない

■地域復興交付金…被災者数が100人以上の



栃木ライオンズが42年前に植樹し、今では地域の観光名所となった「あじさい坂」

災害を対象とし、他の組織が既に緊急ニーズに対応済みである場合に、がれき撤去や施設の修理などの支援を行う地区に対して、最大2万円を交付する。申請は災害発生から60日以内に行わなければならない。建設事業は対象とならない。また、緊急援助金を受領した場合、同じ災害に関してこの交付金を申請することは出来ない。

二つの交付金に関する詳しい資料は、LCIFウェブサイト (www.lcif.org) の交付金のページでダウンロード出来る。

次回の国際平和ポスター・コンテストのテーマは「平和・万歳」

2016・17年度国際平和ポスター・コンテストは「平和・万歳(A Celebration of Peace)」のテーマで行われる。1989年に始まったこのコンテストは、子どもたちに平和について考え、そのビジョンを表現し、共有し合う機会を提供する。クラブは地域の学校や青少年団体から作品を募ってコンテストに参加。応募作品は獨創性、芸術性、テーマの表現力を審査され、クラブ、地区、複合地区の段階を経て、国際レベルの審査へ送られる。国際レベルでは、大賞受賞者1人と優秀賞受賞者23人を選出。大賞受賞者には5千ドルが贈られ、例年3月に行われる国連ライオンズ・デーでの授賞式に招待される。コンテストをスポンサーするために必要なキツトは、ライオンズクラブ国際協会日本事務所 (TEL: 03・3494・2931 / FAX: 03・3494・2933) で販売。

会議録

■第6回ライオン誌日本語版委員会 (1月12日) ①ライオン誌日本語版事務所の運営 ②事務所統合委員会 ③2016年1月号 (12月20日見本/9万7100部発行) 出来④2月号記事内容の確認 ⑤3月号以降台割(案)と主要記事予定 ⑥ライオン誌デジタル化 ⑦その他

解散クラブ

1月 北海道・南茅部

訃報

元国際役員

古川俊隆 (埼玉県・岩槻)

1月1日死去。88歳。82年度330・C地区ガバナー。

大井孝三 (広島)

1月9日死去。85歳。94年度336複合地区ガバナー協議会議長、336・C地区ガバナー。

五十嵐卓 (秋田県・大曲)

1月23日死去。94歳。85年度332・E (現F) 地区ガバナー。

在田一雄 (兵庫県・西脇)

1月31日死去。96歳。83年度335複合地区ガバナー協議会議長、335・D地区ガバナー。

献眼者

12月 野木文夫 (静岡県・小山) / 俣野明美 (長崎県・諫早中央)

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

国際大会開催予定

第99回 16年6月24日〜28日 / 日本・福岡
第100回 17年6月30日〜7月4日 / アメリカ・イリノイ州シカゴ
第101回 18年6月29日〜7月3日 / アメリカ・ネバダ州ラスベガス
第102回 19年7月5日〜9日 / イタリア・ミラノ
第103回 20年6月26日〜30日 / シンガポール



福岡・中州



ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

創設者メルビン・ジョーンズ

メルビン・ジョーンズは夢見る人、行動する人、そして実践する人でした。明るく積極的な外交員で、プライベートな時間はシエイクスピアを読み返して過ごしていました。世界最大の奉仕クラブ組織の創設者として、彼以上にふさわしい人物はいたでしょうか？

国際理事会が正式にジョーンズを創設者に指定したのは1958年のことで、ライオンズクラブが初の会合を開いてから40年余りが経っていました。しかし、その肩書が何であるかと、ジョーンズはライオンズに計り知れない影響を及ぼしました。彼がもたらしたリーダーシップ、組織力、不屈の精神と筋力は、国際協会が今日に至るまで成長する基礎固めに不可欠でした。

ジョーンズは1879年1月13日、父が偵察兵を務める米陸軍騎兵隊の駐屯地、アリゾナ州フォート・トーマスで生まれました。ジョーンズが7歳の時に一家は東へ移り、イリノイ州に落ち着きます。美しいテノールに恵まれた音楽で身を立てたいと考えていました。代わりに保険外交員になりました。1913年までにシカゴで自分の保険代理店を構え、「ビジネス・サークル」と呼ばれる実業家の昼食会クラブに加わると、まもなく率先して新会員

を募り、退会者を説得して呼び戻す役割を果たすようになります。しかしジョーンズにとつて、ビジネスだけを目的とするクラブには物足りない部分がありました。彼はもっと大きな、角度の異なるビジョンを持っていたのです。彼は自問しました。



「意欲、知性、熱意によつて成功を収めた会員たちが、その能力を地域社会の改善のために活用したらどうなるだろう？」

それは、他者に奉仕することを願う新しいクラブの在り方でした。そのビジョンの実現に向け、トップ・ゴルフアーだった妻ローズの手を借りて全国

中心の組織という彼のアイデアを取り入れるよう呼び掛けました。入会を希望するビジネスマンがイリノイ州シカゴに集まり、1917年6月7日にライオンズクラブ国際協会が誕生します。その年のうちに初回大会がテキサス州ダラスで開かれ、ジョーンズは幹事兼会計に選出されました。彼は長年この役職を務め、最終的には理事会から終身幹事長の肩書を与えられます。

健筆家だったジョーンズは、明確に力強く表現することも出来れば、美文によつて感情に訴えることも出来ました。「ライオンズクラブの目的」や「道徳綱領」など、草創期の文書にその腕前がうかがえます。今なお引用される『ライオン誌』の彼のコラムは、国際協会の原則と価値観を明確化するため

に役立ちました。彼は格言好きでもありました。「真実とバラにはとげがある」という座右の銘を、オフィスに飾っていたものです。ジョーンズは1926年に保険業から身を引き、ライオンズの事実上の最高責任者、同時に世界を飛び回る親善大使となりました。拡大する本部業務を組み立てて管理すること、各地のクラブへ絶えず足を運んで話すこと。彼は二つの役割を見事に果たし、決して歩みを緩めることはありませんでした。

ライオンズ新世紀の第1歩を踏み出す 次期地区ガバナーの就任に向けて

1月31日、2月1日の2日間、福岡市のホテル日航福岡において第1副地区ガバナーを対象とするGMT/GLTエリア研修が行われました。福岡では今年6月に第99回国際大会が開かれ、新年度の地区ガバナーが就任されます。その誇りと重みに備えて頂きたいという願いを込めて、福岡が研修の地選ばれました。

GLTが担当するこの研修は国際協会で決められた研修プログラムで、第1副地区ガバナーは地区ガバナー就任を前に、①個人研修（オンライン）、②複合地区研修、③GMT/GLTエリア研修、④地区ガバナー・エレクト・セミナーを受講します。第1副地区ガバナーは昨年の秋頃からオンラインのライオンズ学習センターで事前課題を履修し、その成果を持ち寄って研修に臨みました。今回の研修を経て、地区の指導力育成と会員増強における最終的な目標を設定し、具体的な行動計画を作っていくことになるのです。

研修1日目はGLTが担当する「地区の成功を目指して」「将来のリーダー発掘」「指導力育成・目標計画」の指導力育成に関するセッション、2日目はGMT担当の会員増強ワークショップとして「会員増強の成功を支援する・会員増強に重点を置く」「会員増強目標及び行動計画」の二つのセッションと、100周年記念プログラムに関するセッションが行われました。それぞれGLT、GMT、100周年記念委員会のリーダー及びコーディネーターが講師を務め、受講者からは建設的な意見や多くの質問が出されました。

地区が成功を収めるためには、地区ガバナーを筆頭とする地区指導者チームのメンバーの資質や心構えが重要となります。1日目の指導力育成のセッションでは、なぜリーダーの発掘が必要なのかに始まり、人材発掘と育成に必要な情報資源の解説や具体的な行動計画について講義が行われました。

この研修の大きな目的の一つに、地区の課題や成功事例などの情報交換があります。そのため初日の研修後に夕食会を開催。話題は尽きることなく二次会へと続き、楽しく有意義なひと時となりました。

2日目は朝8時から研修がスタート。会員増強に関する資料の活用、GMTの役割と支援体制、プログラムの実践と成果の確認について説明があり、続いて具体的な取り組みに関するワークショップが行われました。ワークショップは複合地区ごと



研修出席者

■講師

<GLT>

不老安正 会則地域副リーダー
 牛木護 エリアリーダー（東日本）
 城阪勝喜 エリアリーダー（西日本）
 玉川孝 337複合地区コーディネーター

<GMT>

鈴木誓男 会則地域副リーダー
 金子正之 エリアリーダー（東日本）
 丸山正芳 エリアリーダー（西日本）

<100周年記念実行委員会>

高田順一 会則地域副委員長

■第1副地区ガバナー

330-A地区 村木秀之
 330-B地区 井出 孝
 330-C地区 濱野雅司
 331-A地区 柏崎昭朗
 332-A地区 柳本英洋
 332-B地区 金野幸造
 332-C地区 岩本政郁
 332-D地区 二瓶克雄
 332-E地区 角田裕一
 332-F地区 菅 卓司
 333-A地区 加藤敏敦
 333-B地区 福田幸信
 333-C地区 松本宰史
 333-D地区 藤井良昭
 333-E地区 中嶋正昭
 334-A地区 垣見正則
 334-B地区 岩花義治
 334-C地区 坂倉三吉
 334-D地区 久野好輝
 334-E地区 武田善彦
 335-A地区 三宮秀介
 335-B地区 川野浩史
 335-C地区 神崎 守
 335-D地区 江草長史
 336-A地区 真鍋 隆
 336-B地区 大谷 博
 336-C地区 安田克樹
 336-D地区 藤本幸嗣
 337-A地区 田中孝文
 337-B地区 吉見章一
 337-C地区 久保秀之
 337-D地区 喜禎光弘
 337-E地区 安田倭也



に分かれて行われ、複合地区内の連携や協力体制の構築が一段と進んだものと思われまます。
 今期の第1副地区ガバナーは

国際協会創設100周年という記念すべき年度に地区ガバナーを務めることになりました。国際本部ではさまざまな記念プログラムを用意していますが、それをいかに利用して盛り上げ、組織の発展につなげるかは、ひとえに地区ガバナーの力量にかかっています。100周年に関するセッションでは各プログラムについて説明がなされ、クラブの積極的な参加を促すことが奨励されました。

今回の研修は、次期地区ガバナーが一致団結してライオンズの新たな世紀に挑むための大きな足掛かりとなりました。
 （報告…城阪勝喜GLTエリアリーダー・玉川孝337複合地区GLTコーディネーター）

中南米フォーラム



1月20日(23日)、ウルグアイの首都モンテビデオで開かれた第3会則地域のフォーラム(FOLAC)に参加した。片道40時間近くを要する長旅の末に到着したウルグアイは、夏の盛りを迎えていた。前号でレポートしたISAAMEフォーラムに続いて2回目のエリア・フォーラム取材となったが、今回も奉仕の熱い心を持った多くの仲間たちに出会うことが出来た。

(取材/ライオン誌日本語版委員 寺越慎一)

1月18日正午過ぎに広島市内の自宅を出発し、広島空港から成田、ダラス、マイアミと乗り継いで、目的地モンテビデオに到着したのは35時間後のことだった。最後の中継地となるマイアミの空港では、同じ便に搭乗される山田實紘国際会長とメキシコの国際理事ご夫妻にお会いした。

山田会長は零下30度のアメリカ・ウイスコンシン州でライオンズの活動の視察をされたのに続いて、真夏のウルグアイへ向かわれるとのことだった。モンテビデオのカラスコ国際空港に到着すると、手荷物受け取り場にフォーラムの看板が二つあり、4~5人のライオンたちが待機していた。フォーラム登録者には空港と宿泊ホテルとの送迎サービスが提供される。事前に登録していた氏名をチェックしてもらい、税関を抜けると、待ち構えていたレオの一人から大きな拍手で迎えられた。先に出られた山田国際会長のために練習したのだろう、私を日本人と見ると「ようこそ！」と声を掛けてくれた。

日本の真裏にある国で

日本から最も遠い国ウルグアイは、日本人にとってなじみの薄い国と言えるだろう。近年では国連の会議に出席した同国のホセ・ムヒカ大統領

開会式ではコーラス・グループが中南米各国の歌を披露。最後の曲では会場が総立ちになり、手をつないで大合唱となった



第3会則地域：南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島

- 国数：44の国及び地域
- クラブ数：3,919クラブ
- 会員数：9万7,801人

(2016年1月末現在)



ペルーのライオンズが主催するホスピタリティー・ルーム。軽快な音楽に乗って踊り出すメンバーも



日中の行事ではユニフォーム姿が目立つが、夜の行事にはほとんどの人が着替えをして現れた

(当時)が経済拡大に突き進む現代社会に警鐘を鳴らし、世界で最も貧しい大統領のスピーチとして話題になったのをご記憶の方もあらずだ。首都モンテビデオは太平洋に注ぐラ・プラタ川の河口付近、アルゼンチンとの国境に位置している。人口約140万人、ガイドブックによれば南米の中で最も生活水準の高い町の一つで、治安も良好だという。空港からマイクロバスで本部ホテルのラディソン・モンテビデオ・ビクトリア・プラザへ向かう途中、河口に面して連なるビーチには海水浴を楽しむ人々の姿が見えた。ホテルは新市街と旧市街の境界に当たる独立広場に面し、周辺にはヨーロッパを思わせる古い建物と近代的なビルが混在している。うまく街並みを保存出来ていたならさぞかし見応えがあっただろうと、少し残念な気がした。

チェックインして一休みした後、本部ホテル4階にある受付で登録キットを受け取った。名札、食事券、ロゴ・バッジ、プログラム入りのノートブック、肩掛けバッグとオレンジ・ジュースなど。受付係はレオのメンバーで、他にも場内の案内係や食事会のチケット係として、高校生ぐらいの年頃のレオたちが大活躍していた。ウルグアイのレオ・メンバ

1は約800人とのこと。翌日の国際会長とレオの会合にはレオとライオンズ200人ほどが参加し、山田会長の言葉に真剣に耳を傾けていた。

演説好きなライオンたち

20日朝9時、独立広場に各国ライオンズが集い、山田国際会長が独立戦争の英雄ホセ・アルティガスの騎馬像に献花するセレモニーでFOLA A Cが開幕した。各国メンバーは青や黄色のユニフォーム姿が多く、中にはこのフォーラムのために新調したと思われるロゴ入りもあった。

開会式の会場は本部ホテルから150m程離れた国立公会堂。徒歩で行き来が出来て非常に便利だった。会場にはロビーにフォーラム公式グッズのワインとTシャツを置いた机が一つあるだけで、看板の類はない。本部ホテルや周辺にもフォーラム開催を示すものは見当たらず、こうした機会にもっと市民にアピールする必要もあるのではないかと思った。

開会式は午後8時にスタート。終了後にカクテル・パーティーが開かれるとあって、昼間はポロシャツ姿だったメンバーたちも男性はスーツ、女性はドレスに着替えていた。1800人収容のホールは1階席と2階



国際会長とレオの会合で、山田会長はライオンズの将来にとってレオの存在は非常に重要なものだと話した

席の一部が埋まり、出席者は千人以上と思われる。5分遅れで幕が上がると、ステージには山田国際会長ら執行役員、国際理事、元国際理事と組織委員長ら40人程が着席していた。まずは各国国旗が入場するフラッグ・セレモニー(旗手はレオ・メンバー)、組織委員長やモンテビデオ市長らの歓迎あいさつと続いて、最後に山田国際会長の紹介とスピーチがあった。この地域の国々はポルトガル語圏のブラジルを除けばスペイン語が公用語で、他に会員数は少ないがフランス語圏、英語圏のカリブ海諸島も含まれる。そのためフォーラムでは主にスペイン語が使われ、開会式と総会、閉会式ではポルトガル語と英語の同時通訳が提供された。この会場では開会式の他に、2日

目から4日目まで3回にわたる総会と閉会式、夜には歌とダンスのショーが開かれた。総会は毎日朝10時から午後1時までで、第1回は奉仕活動、第2回は会員増強などについてそれぞれ三つのテーマでスピーチによる発表があり、続くワークショップ



第2回総会では奉仕に関する発表の後、二つの会場に分かれてワークショップが行われ、子どもの尊厳を守る奉仕や、ライオンズクエストについて話し合われた

ップは質疑応答のやりとりで進められた。総会の後は昼食をはさんで、国際会長とのミーティングや、GMT・GLT、LCIFなどのセミナーが組まれていた。最終日の第3回総会はLCIFに関する報告や、元国際理事1人と国際理事2人の活動報告などがあり、それが終わると続けて閉会式となった。

閉会式や総会に出席して感じたのは、スピーチや発表を行うライオンたちが総じて雄弁な話し手であり、聴衆は非常に熱心な聞き手であるということ。会場のどこから私語が聞こえようと、決まって「シー！」と注意する声が上がった。スピーチ時間は一人当たり大体20分程度で、私はちよつと長過ぎるように感じたが、ライオンズの奉仕や理念、国際性が熱く語られて、随所で拍手が湧いた。東洋・東南アジア(OSEAL)フォーラムの場合、開会式は最初のうちは満席になるものの途中から退席が相次いで、中盤には会場ががら空きになってしまう。ここではその逆で、開会式も総会も会場への出足は遅いものの、いったん入場すると途中で席を立つ人はほとんどいなかった。出席者は第1回総会が600人ぐらい、第2回総会では数が減って200人ぐらいといったところだ。



夕食会では堅苦しいあいさつなどは全くなく、席に着くとすぐにワインが注がれて、順次料理が運ばれてきた



音楽と夕食会で楽しい夕べ

今回のFOLACの登録者は千人を超え、国別ではブラジルが300人弱、ペルーが130人程と多かった。この地域は女性会員の比率が44・5%と七つの会則地域で最も高く、フォーラム参加者も男女半々と思われた。登録料は200ドルとOSEALより高いが、送迎やカクテル・パーティー、昼食2回、夕食3回が含まれるので割安に感じる。

昼食会と夕食会は本部ホテルの宴会場の内と外にびっしりとテーブルを並べて開かれた。昼は前菜とメイン、夜はそれにデザートが付くコースで、牛カツレッツや名物のサンドイッチ、チヴィートなどが出された。インドでのISAAAMEフォーラムは一切アルコール無だったが、こちらはありがたいことに、夕食時にはフォーラム・ロゴ入りボトルの国産赤ワインが飲み放題だった。

毎日夕方からは交流とお楽しみみの時間となる。2日目と3日目は6時から本部ホテルに主要各国が交替で提供するホスピタリティー・ルームが設けられ、メキシコはテキィラを、ペルーはピスコ・サワーを振る舞ってくれた。その後、公会堂に移動し

て2時から1時間のショー・タイムがスタート。ラテンアメリカ・ナイト、ウルグアイ・ナイトと銘打たれたサンバやタンゴといった南米各国の音楽とダンスのショーが繰り広げられた。ショーが終わると再び本部ホテルに戻って夕食会となる。テーブルは国別に指定されていて、私はペルーのライオンたちと同じテーブルになった。お互いに片言の英語での交流だったが「サルー」「乾杯」と何度もグラスを合わせて、とても楽しい時間を過ごした。私は11時過ぎに失礼を詫びて部屋に引き上げたが、宴はその後も続いていたようだ。最終日の晩餐会は中心街から離れた素敵なレストランに場所を移して開かれたが、帰国便の時間の都合で出席出来なかったのが残念だ。

中南米のライオンたちは非常にフレンドリーで、各国の参加者が気さくにあいさつを交わして語り合っていた。言葉の壁があるOSEALでは見られない光景で、うらやましく感じた。ただし、肩を抱き合ったり頬を合わせる親密なあいさつには、どうしても慣れることが出来なかった。私が言葉を交わしたメンバーの中には、福岡国際大会に参加を予定しているという人が何人かいた。福岡での再会を楽しみにしている。

会員倍増計画レポート⑥

◎東日本担当GLTエリアリーダー報告

◎12月第1位：336-A地区ガバナー報告

12月新会員数ベスト6地区



☆第1位 336-A地区
63人(累計355)増
橋本充好地区ガバナー



☆第2位 337-C地区
46人(累計219)増
松尾治吉地区ガバナー



☆第3位 336-C地区
44人(累計425)増
片岡文彰地区ガバナー



☆第4位 336-B地区
44人(累計287)増
尾崎博地区ガバナー



☆第5位 335-B地区
38人(累計495)増
中村猛地区ガバナー



☆第6位 333-E地区
37人(累計270)増
下川利澄地区ガバナー

(国際本部集計/12月末現在)



GLTエリアリーダー
東日本担当/牛木 謙

◎質の向上と会員増強を目指して

去る12月、タイ・バンコクにおける東洋・東南アジア(OSEAL)フォーラムでGMT・GLTエリアリーダー会議が開かれました。その会議上、GMT第5会則地域リーダーを務めておられるウィンクン・タム元国際会長は「2016年2月までにOSEAL地域であと1万人以上の増強を図れば、山田實紘国際会長を出している当エリアは会員数で国際協会1位の会則地域になれるのがんばってほしい」と、語られました。

日本ライオンズでは今年度、FWT 4万人、GMT 4万人の増強を目指しており、近いうちに本誌においてその目標達成が報告されることを確信しています。

GLTとしても複合地区、準地区の各コーディネーターが各地区においてGMT・FWTコーディネーターと一緒に会員増強を目指すと共に、この課題に対応出来る指導者育成に努めてまいります。

◎12月第1位：336・A地区
現状を把握し目標達成を

地区ガバナー/橋本充好

2015年12月度に日本の準地区の中で会員増強が優れていたとのことで、丸山正芳GMTエリアリーダー(西日本担当)から原稿依頼があり、名譽なこととしてお引き受けさせて頂きました。

当地区としては、過去の会員の推移を見る限り、従来通りの会員増強の手

法では会員を増やすことは困難だと考えました。そこで、地区ガバナー公式訪問までにGMT地区コーディネーターから各クラブへ、会員数の現状(正会員、女性会員、家族会員こと)及び増員目標の記入用紙を配布し、公式訪問時に回収しました。それと同時に、女性と家族の社会奉仕への参加の必要性を説き、目標達成をお願いしました。更に折に触れて、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンを通じて各クラブの状況を把握し、対応させて頂きました。

年度末まで時間はまだあります。当地区のコーディネーター、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、クラブ会長に感謝申し上げます。共に、総力を挙げて会員増強に邁進致します。

福岡国際大会への道

7

市民との触れ合いとライオンズのPR



交流の場ライオンズマーケット
国際大会2日目の6月25日、毎年5月の連休中に日本有数の人出を誇る「博多どんたく」と同じコース（冷泉公園）土居通り交差点（天神中央公園）を、各国の民族衣装を身にまとった1万人の方々が練り歩き、インターナショナル・パレードが行われます。その

します。
パザールのコンセプトは「交流・ふれあい」です。この大会に参加される国内外のライオンと一般の方々がパザールを通して触れ合い、日頃のライオンズの活動を理解して頂ける場になるよう、準備を進めております。
また26日には、天神中央公園芝

パレードのゴール地点となる天神中央公園にて、6月25、26日の2日間、九州各地の観光案内ブースや日本赤十字社の献血PRブース、ご当地グルメのラーメンを始め、もつ鍋やお寿司などの飲食ブース、お土産の明太子・洋菓子・和菓子など80店舗がひしめく、パザール「ライオンズマーケット」を開催

生広場内にてライオンズのメンバーが特技やかくし芸などを披露して、市民の方々にも共に楽しんで頂く催しも計画しております。詳細が決定し次第、皆様に告知しますので、「我こそは」と思われる方はぜひご応募ください。
福岡国際大会に参加される世界と日本のライオンズの皆様にお楽し

み頂けるよう、パザール委員会が、心を込めて準備しております。皆様奮ってご参加くださいますよう、メンバー一同心よりお待ち申し上げます。（第99回国際大会ホスト委員会／パザール委員会）
ライオンズの活動伝える展示
国際大会会期中、福岡市の中心地・天神の百貨店、岩田屋と大丸の2カ所でライオンズクラブの歴史とその活動を紹介する「ライオンズパネル展」を開催します。
岩田屋7階催事場では、1917年の国際協会創設から現在までのライオンズクラブの国際的な活動について、国際本部所蔵の貴重



な資料を交えて歴史的な写真や映像などを展示し、世界に影響を与えてきたライオンズの奉仕活動を紹介します。近年ではLCIFとビル&メリンダ・ゲイツ財団の提携によるはしか予防のワンショット・ワンライフ・キャンペーンや、東日本震災におけるライオンズクラブの支援などにも触れ、広く福岡県民を始めとするノン・ライオンズの皆様にその世界的活動を理解して頂ける展示を目指します。
もう一つの会場、大丸1階パザール広場では、福岡県内のライオンズクラブにフォーカスし、337・A地区に所属する116クラブの現在の活動を紹介するパネル展を開催します。インターナショナル・パレードのゴール地点となる天神中央公園に隣接する二つの会場は、九州でも最もにぎわう繁華街にあります。ショッピングに訪れる多くのノン・ライオンズの皆様に対し、改めてライオンズクラブの世界的インパクトを伝え、活動への賛同を広げ、ひいては入会希望者の増加につながる企画として、現在鋭意準備中です。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

（同／記録委員会）

獅子吼

諮問委員会と被災地視察

浪越 直樹（岩手県・東和猿ヶ石）

東日本大震災の未曾有の揺れと津波は、街の姿だけでなく、住民の暮らしや将来も一瞬にして変えた。生活の利便性を支えていた原発は目に見えない恐怖となり、故郷から住民を遠ざけて既に4年半。しかしその間、政治は揺れ動き、復興の歩みは遅々として進まない。

◆ 「がんばれ一本松」
ぼくのお父さん
どこにいるか
みえないかな
見えたら教えて

一本松

おねがいするよ。
（小学3年 震災遺児作文集から）

今、この現地に立って、震災を忘れず、「復興には何が必要か」「ライオンズの活動とは」を改めて考えるきっかけになればと思いを馳せる。

8月19日、332・B地区諮問委員会の面々は、道の駅石鳥谷（岩手県花巻市）

から東和インターチェンジを経由して、一路、陸前高田市へバスで視察に向かった。車中ではゾーン・チェアパーソンがキャビネット会議について報告。引き続きガバナーが諮問した事案を、クラブごとの回答を見ながら取りまとめた。各クラブとも会員の高齢化・行動力の鈍化などが話題になったが、結論に至らず次回会議へ繰り越した。

程無く陸前高田市に到着。震災語り部（ガイド）の案内で、震災の記念館を見学。当時のすさまじさをパネルとガイドの説明で実感する。同じ敷地内にある震災慰霊碑に全員で黙とうを捧げた。

続いて市内をバスで巡回し、震災の爪痕をまざまざと見せつけられ、胸の痛みを感じる。そして復興への兆し、特に土地のかさ上げが高い所で12m、防潮堤の建設などが急ピッチで進んでいる様子も浮かぐ。

次に市内のホテルに会場を移し、「この震災から何を学び、忘れまい！」を

テーマに研修会を開催（この研修会に当たり、第4期第2期の出羽秀二ゾーン・チェアパーソンの協力に感謝します）。陸前高田ライオンズの佐々木晃会長と伊藤勇一は、快く講師を引き受けてくださった。お二人は福祉施設の代表で、被災当時、共に施設を避難所として開放した経験から、津波襲来時の生々しい状況や、避難所での苦労話など、貴重な体験話から教訓のイロハを説いて頂いた。そこには、人の命と親身に向き合うライオンの姿を垣間見ることが出来た。

また、この震災で犠牲になられたライオンを偲ぶ慰霊碑が、市内を見下ろす小高い丘に建てられており、全員で哀悼の意を捧げて帰路についた。

ライオンズクラブやゾーンの活性化にガバナー諮問委員会はどう向き合うのか。この大きな課題は会員増強より切実であり、継続的な対応が求められる。

被災地への対応も含め、セレモニー化したライオンズから地域に密着した存在となり、そして誇りを持てる奉仕活動に真剣に取り組むべきと思う。そのためには、クラブ3役には手数を掛けするが、ガバナー諮問委員会の在り方を今後も一緒に模索していきたい。

（第2期第1期ゾーン・チェアパーソン／08年入会／74歳）

●獅子吼(ししく)

①私が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えている語。

②大いに熱弁をふるうこと。(広辞苑)

●投稿要領:

会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度



イラスト/小川和政

民間ドクターヘリメッシュュサポート

古川 誠二(鹿児島県・与論)

私は離島医療に携わって約30年にな

る。その間、離島にも大きな病院が
来、医療が格段に充実したが、それ
も島では完結出来ない病気があり、緊
急搬送のための手段は欠かせない。一
刻を争う処置が必要な時に、周りを海
に囲まれた離島では、車での移送とい
う選択肢がない。患者搬送の方法とし
て昼間はヘリコプターかセスナ機、あ
るいは民間機、夜間は自衛隊のヘリコ

プターを要請するしかない。

私の住む与論島は鹿児島県の最南端
の島だが、沖縄県の辺戸岬が20キロ先に
見えている。昔は琉球の北山王の支配
下にあったが、琉球が薩摩藩との戦い
に敗れて以降、薩摩藩の支配下に置か
れた。そして戦後は一時アメリカの支
配下にあり、沖縄より19年早い195
3年に日本復帰を果たした。行政圏こ
そ鹿児島だが、文化、生活、医療圏は
沖縄という複雑な状況にある県境の島
である。

私は、医療従事者としてこの島の
人々の命を守る時、沖縄県との情報遮
断のために大変苦労する状況に置かれ
ていた。患者さんの病気の精密検査や
治療のために書く紹介状はほとんど沖
縄の病院である。患者さんの希望を聞
いて鹿児島県内や他の地域の病院に紹
介状を書く場合もあるが、圧倒的に沖
縄が多いのだ。しかるに私が所属する
のは当然鹿児島県の医師会なので、病
院の情報はほとんど鹿児島からのもの

である。唯一、沖縄の豊見城中央病院
と連携病院になっているために定期的
に病院だよりが送られてくるので、診
療科や医師の名前、対応出来る疾患の
詳細が把握出来る。そして地域連携室
との連絡もスムーズに出来、救急患者
は全て受け入れてくれる。患者搬送の
手段さえ確保出来れば何とかなる。

沖縄には沖縄ドクターヘリという、
以前は浦添総合病院が、現在は沖縄県
が運営主体となっているヘリコプター
がある。日常はこのルートで問題なく
搬送出来るのだが、沖縄県に1機しか
ないので、沖縄の患者搬送が優先され
るといふ問題がある。更にヘリコプタ
ーは経費が掛かるので、県外の与論か
らの搬送にはかなり厳しい条件が付け
られる。患者搬送の判断は時に大変難
しく、ある種の勘が検査データより正
しかったという経験も何度もある。し
かるに公的機関では搬送基準という理
由付けが優先される。そこで期待され
るのが、危険回避のためにもっと柔軟
に対応してもらえる組織である。それ
に代えてくれるのが、沖縄のNPO法
人メッシュュサポートという組織である。
与論に近い名護市にあり、医療用飛行
機も持っている。そしてドクター無し
でも救急救命士とナースで運べるケー
スも想定されている。ヘリコプターの
運営には1機につき、年間9千万円程

度費用が掛かり、国と沖縄本島北部地域の市町村から6千万円の補助を受け、3千万円はNPOへの寄付で運営されている。最近ではクラウドファンディングでお金を集め飛行機を購入している。飛行機は滑走路さえあれば、より早くより遠くまで飛ぶことが出来る利点がある。今までと違い、同乗しても島に送り返してくれるので仕事に支障が出ない。こちらを含めて今後年間1・5億円ほどの維持費が掛かる。決して運営は楽ではない。事実過去に2回ほど

資金不足でストップしている。それでも救える命を救いたいとの情熱で人生をかけている若きスタッフがいます。この現状をご理解頂き、ライオンズの皆様にサポート頂ければ幸いです。

(元会長/88年人会/66歳)
連絡先・NPO法人メッシュサポート
理事長・小瀨正博/〒905・861
1 沖縄県名護市宇茂佐1712・3北
部地区医師会病院内/TEL098
0・54・1006/FAX098
0・54・1919

神が与えてくださった きらめきのひと時

私が所属する茨木オーケライオンズクラブは1981年の春、スポンサーとなった茨木ライオンズクラブの20周年記念事業の一環として結成された。

新クラブを結成するためのキー・メンバーが7人選ばれ、茨木青年会議所(JCC)を卒業した私もその一人となった。キー・メンバー7人中5人はJCC卒業生で、奉仕団体の役割及び活動を十分に理解していたので、スムーズに

事が運んだ。

初代会長はJCC時代の私の後輩で、彼の父が親クラブの初代会長を務めたことから、親クラブの強い要望で就任。私はキー・メンバーの中で一番の年長者という立場と、彼とは自宅が近いため、彼からの要請で初代幹事を引き受けた。その後、彼を中心軸として結成式典の準備及び周辺クラブへの認証状伝達式のPR等で、東奔西走の日々が

続いた。

私とその認証状伝達式の状況を記し投稿した「認証状伝達式……そして、今」は『ライオン誌』82年8月号「獅子吼」に掲載され、今も記念として私の手元に大切に残している。それから10年、我がクラブの10周年記念事業として茨木ローズライオンズクラブをエクステンション。私はガイディング・ライオンとして1年間新クラブに赴いた。

更に25年が過ぎた昨年11月、茨木ローズライオンズクラブチャーター・ナイト25周年記念式典が開催された。いみじくもこの茨木ローズライオンズクラブ会長を私の息子が拜命しており、式典舞台では息子から私に

「あなたは我がクラブの結成に当たりガイディング・ライオンとして多大な尽力をされました。その功績に対し深く感謝の意を表します」

と一言を添えて感謝状が付与された。何とも言い難い気分の私に、出席者一同はニタニタ顔。舞台上の私の行動の一挙手一投足を見逃すまいと注視。特に、茨木商工会議所の合田純一会頭は「良かった。すばらしかったですよ」と激励か冷やかかし半分分からないニタリ顔で私の手を握り、式典に出席された中村猛地区ガバナーも「親子で、すばらしい」と称賛しておられたと、伝えてくれた。合田会頭は茨木ローズ



実績 45年

ビル
マンションの
防水・補修・塗装
等
改修工事専門

ビルの延命を志向して45年。
味わい深い風貌を保ち続けて欲しい...
私たちエーコーの願いです。

エーコー総建株式会社

東京都知事許可(般26)第46720号

〒165-0023 東京都中野区江原町三丁目
34番地1号 エーコー第2ビル

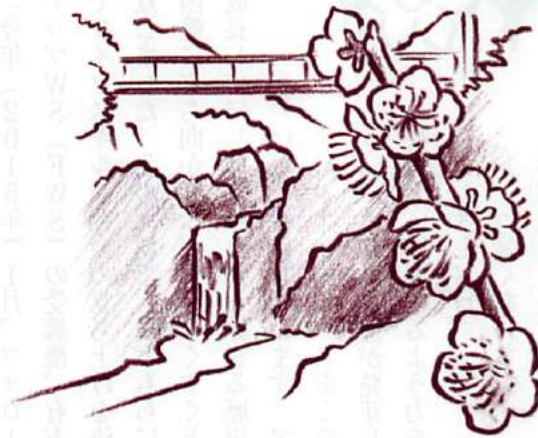
TEL.03-3565-0971(代)

FAX.03-3565-0981

代表取締役社長 竹井 浩

代表取締役会長 竹井 壽一
(東京新宿ライオンズクラブ会員)

<http://www.eikohsohken.co.jp>



ライオンズクラブメンバーで、J.Cでの私
の後輩。会長を務める息子と自宅が近
く、親子共々交友を頂き、時には会頭、
私、そして息子の3人で一献交わすワ
イワイ仲間である。

この25周年式典は、神が与えてくだ

さった、普通の人生では味わえないす
ばらしい体験と出会いの、最高のひと

時であった。

(85年度クラブ会長/81年入会/79歳)

初代会長に上白石小の石山先生

木村 明夫(北海道・サッポロシニア)

業がスタートして10年。この節目の年
に、「思春期のライフスキル教育」に新
たな風が吹きました。

出席した先生は、ライフスキル(生
きる力)教育のワークショップ(W.S.)
に参加した方々。今の時代、教師が子
どもに教え込むだけの一方通行の指導
方法はふさわしくありません。子ども
自身が自分で判断して、学業や生活を

2015年7月4日、鹿児島に次い
で全国で2番目となる「北海道ライフ
スキル研究会」の設立総会が、札幌・
狸小路にあるピアホール「ライオン」
で開催されました。学校教諭やライオ
ンズ・メンバーら21人が出席。同研究
会の初代会長には、札幌市立上白石小
学校の石山栄次先生が互選されました。
当31・A地区でライオンズクエスト事



改善出来る力を身に付けていく指導が求められています。

ライオンズクエストの導入に当たって、先生方は2日間のWSを受講し、専任講師からライフスキル教育を伝授されます。が、それだけでは教壇で生かして切れないのが実情です。この度設立された研究会は、先生方が悩みを共有し、アドバイスをし合う場、交流の場として誕生しました。

発起人会を代表して石山先生が、「今年（2015年）1月、フォーローアップWS（FWS）の受講後、有志でライフスキル研究会の立ち上げを決意しました。北の大地で、子どもらに困難に立ち向かいながら、すくすくと成長してほしい。今日から始まる歴史にワクワクしています。アドバイス、アイデアをください。まかれた種が発芽し、幹の太い樹となるよう力を尽くしましょう」と、力強くあいさつ。

安部尚明地区ガバナーと佐藤昌洋キャビネット幹事は、残念ながらホノルル国際大会から帰国して体調を崩して欠席。松下馨キャビネット会計が、「LCIFからの交付金も

得、この3年間はライオン

ズクエストの新たなステージに取り組んでいます。先生たちによる研究会の立ち上げをうれしく思います。種をまき育ててほしい。熱意があれば、大きな花を付ける。キャビネットとしても必要などころには資金を出します」と、支援を約束してくれました。

この後、議事に入り、会則案、役員選出、平成27年度の活動計画案、予算案を原案通り可決しました。活動計画では、年2回の学習会、キャビネットから講師を派遣してもらい研修会の開催、過去5年間のWS、FWS受講者に研究会の参加を呼び掛けることになりました。

この10年でWSを受講したのは563人、このうち教師は465人に上っています。

懇親会では、出席者がスピーチをされ、それぞれ

「新たな学びの場です。ライオンズクラブの異業種の方々と話し合う機会が出来て楽しみです」（小倉光晴・上白石小学校校長）

「WSで習ったエネジャイザーを授業で生かしています。研究会で勉強したい」（乙丸聡史・滝川市立明苑中学校教諭）

「転んだ時に生徒はどうするか。ヒントを与えるライフスキル教育は、新鮮だ」（高橋孝一郎・札幌市立月寒東小学

校教諭）

などと、語られました。

北海道で第1号のライオンズクエスト説明員となった髙設楽幸子（札幌西ライオンズクラブ）は、

「各クラブや学校を訪問してライフスキルをPR。良い説明員になりたい」と話していました。髙設楽は、研究会の顧問に就任しました。

北海道ライフスキル研究会設立総会には、サッポロシニアライオンズクラブから義煎英一会長ら9人が出席。同会をサポートしていくことになりました。

（地区PR・ライオンズ情報副委員長／01年入会／65歳）

お仏壇・仏具はやっぱり京都



(株) 若林

伝統工芸 京仏壇・京仏具

京都本社 〒600-8218京都市下京区七条通新町東入 ☎075-371-3131 (代)
 東京店 〒146-0081東京都大田区仲池上2-8-13 ☎03-3755-8488 (代)
 築地店 ☎03-3546-8228 (代)
 札幌店 ☎011-512-3455 (代)
 仙台店 ☎022-213-0666 (代)
 近江草津店 ☎077-564-1011 (代)
 福岡営業所 ☎092-761-3737 (代)
 新潟営業所 ☎025-255-0868 (代)

◎お仏壇のカタログ
差し上げます。
◎お近くの若林各店
までお気軽に。

京都ライオンズクラブ会員 若林正博

東京スカイツリーを望む墨田区はものづくりの町として知られる

ものづくりの町が展開する 地域ブランド「すみだモダン」

ふるさと探訪

東京都 墨田区

取材／鈴木秀晃 写真／田中勝明





墨田

SUMIDA

東京都墨田区

東京都、西の区境は隅田川、東の区境は荒川及び中川と、河川に挟まれた町で、水の郷百選に選ばれている。江戸時代、明暦の大火（振袖火事）で江戸中心部が焼け野原となり、武家屋敷が移転してきた同区南部の本所は、時代劇でおなじみの地名だろう。関東大震災で区域の大半が焼け、更に東京大空襲でも区内全域が焼失。戦後の1947年に本所区と向島区が合併し現在の墨田区が誕生した。江戸切子に代表されるガラス器の製造やガラス加工が有名だが、皮革産業や石鹸産業も盛んで、大正時代には花王、ライオン、資生堂、ミヨシの四大石鹸メーカーが区内にあった。両国地区には大相撲の両国国技館、押上・業平橋地区には自立式鉄塔としては世界一の高さを誇る東京スカイツリーがあり、隅田川を挟んで隣接している浅草と共に、国内外から多くの観光客を引き付けている。

面積 / 13・77平方キロ
人口 / 26万1993人（2016年2月1日現在）

交通アクセス

JR総武線、東武鉄道の伊勢崎線と亀戸線、京成電鉄押上線、都営地下鉄の浅草線、新宿線、大江戸線、東京メトロ半蔵門線と8本の鉄道が通る

国道6号線（水戸街道）、同14号線（京葉道路）、首都高速6号線（向島線）と7号線（小松川線）の他、明治通りや春日通り、蔵前橋通り、清澄通りなどがある

墨田区が取り組む地域ブランド戦略

東京スカイツリーと共に東京スカイツリータウンを形成する商業施設東京ソラマチ。その5階に「産業観光プラザすみだまちなち処」がある。墨田区の特産品などを販売しているが、中央には、「2015年度グッドデザイン賞受賞」と書かれたコーナーが設けられている。置かれているのは、墨田区が立ち上げた地域ブランド「すみだモダン」の認証商品だ。

墨田区はスカイツリー誘致の決定を機に、すみだ地域ブランド戦略を立ち上げた。その取り組みの中の一事業が「すみだモダン」で、「あたらしくある。なつかしくある。」の基本コンセプトの下、専門家を審査員に、すみだ発の商品・飲食店メニューの認証をしている。

墨田は面積当たりの工場数では都





すみだモダン

すみだモダン飲食店メニュー



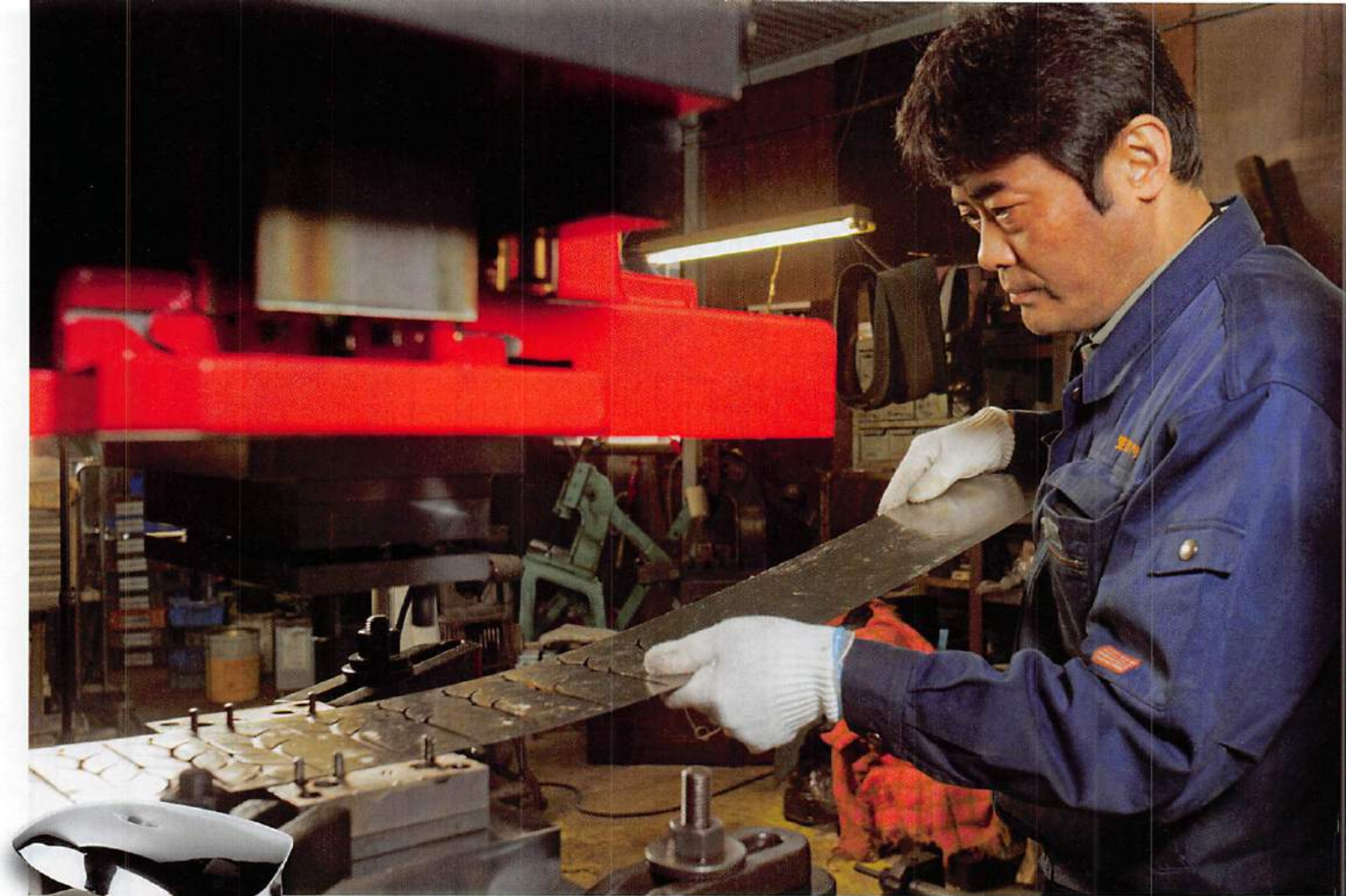
まぐろしょうがやき：13年認証／下町割烹 上総屋（墨田区向島2-2-10 / TEL.03-3622-7418）＝マグロのスジ肉を使った生姜焼で、ロングセラーの看板メニュー。毎日マグロを築地から大量に仕入れ、店でさばいている上総屋ならではの一品。昼の定食は600円、夜は単品で750円。東京大空襲から奇跡的に焼け残った創業当時（昭和9年）の建物は、石のゴミ箱と共に昭和の下町を感じさせ、居酒屋漫画「ハルの肴」の舞台にもなっている。

内一、日本の高度経済成長を支えた町工場がひしめくものづくりの町だが、ほとんどの事業者は受託製造が中心で自社商品を持っていない。そこで墨田区はブランド認証事業に先立ち、日本を代表するデザイナーやブランドと区内の企業が協働で新商品を開発する「ものづくりコラボレーション」をスタートさせた。高いクリエイターのアイデアと、高い

技術力を持つ墨田のものづくりがタグを組んだことで、付加価値の高いユニークな商品が生まれ、ものづくりコラボは大成功。その後始まった「すみだモダン」にも、コラボ事業の商品が幾つも認証された。墨田区では30年前から「小さな博物館（Museum）」「すみだマイスタール（Meister）」「工房ショップ（Manufacturing Shop）」の頭文字を取った3M運動等を展開し、ものづくりを後押ししてきた。そうした下地があった上でスカイツリーで注目が集まる中、満を持して取り組んだ「すみだモダン」は、質の高い商品とあいまって国内外から大きな評価を受けることになった。

- ① ガラスの硯…13年認証／尾崎製鏡㈱Ⅱサンドブラスト技法でシャープな板ガラスに丸みを持たせた
- ② 江戸切子「粹と技シリーズ」…10年認証／菊ヒロタガラスクラフトⅡ伝統的な江戸切子の手法を赤と黒の現代的なデザインに生かした
- ③ やさしさしびれるニッキ飴…14年認証／宮川製菓Ⅱ小さな工房で昔からの製法を生かしながら、モダンな商品を生み出している
- ④ 典型 自転車止め…13年認証／柴田コンクリート㈱Ⅱコンクリートの特徴を生かした今までにないコンクリートグッズ
- ⑤ 長命寺桜もち…12年認証／㈱やまもとⅡ300年近く続く老舗中の老舗だが、現代でも独特な姿と味わいは他に類を見ない
- ⑥ 言問団子…12年認証／㈱言問Ⅱシンプルさと美しさが、今の時代にもモダンを感じさせる三色団子
- ⑦ SPIDER…11年認証／㈱ヒロカワ製靴Ⅱ端材を再利用し、縫い合わせて作られた全く新しいデザインのモデル

「すみだモダン」の商品部門は専門家による「すみだブランド認証審査会（審査委員長／宮田亮平東京藝術大学学長）」で選考の上、「すみだ地域ブランド推進協議会」が認証。認証商品は「すみだまち処」で販売される。また、墨田区にふるさと納税を行うと、返礼品としてすみだモダンの一部を選ぶことも出来るそうだ。一方、飲食店メニューは区民で構成される「すみだブランド区民調査隊」が覆面調査、試食を行った上で同協議会が認証するというミシユランチックな手法を取り入れている。



「すみだモダン」な現場を訪ねてみると

墨田区北端の八広には、すみだのものづくりを支えてきた町工場が多い。「すみだモダン」認証商品「てのひらトング」の製造元・笠原スプリング製作所（笠原克之代表社員）もその一角にある。

バネ製造を手掛けて90年近く、その間には朝鮮特需からバブル崩壊まで、山もあれば谷もあった。が、谷を乗り越ったと思った頃、リーマンショックによって取引先の倒産や廃業が相次ぎ、主力製品だった板バネ加工の受注が激減。今まで通りに経営を続けるのは困難になった。



「墨田Hanamiプロジェクト」から生まれた「すみだモダン」のひらトング／お皿まな板／すみだ山椒ヤークトブルスト

追い詰められた笠原さんは、墨田区の「ものづくりコラボレーション」に応募。桜の名所として全国的に有名な墨田にちなんでコラボレーターと区内企業が結成したチーム「墨田Hanamiプロジェクト」に参加した。花見やピクニックなど戸外で食事を楽しむためのグッズや食品を開発しようというもので、ここから携

帯用の「お皿まな板（有チバプラス）」や、昔ドイツ皇帝が狩りに携行したというヤークトブルストのすみだ版（株桑原ハム）と共に、笠原スプリングの「てのひらトング」が生まれた。デザイナーからの提案は、カスタネットぐらいのサイズで女性の手にもつかみやすく、料理を簡単に取り分けられるトング。既存の技術では無理な注文だったが、これに賭けていた笠原さんは諦めることなくアイディアを絞り出して試作と改良を重ね、1年半の歳月をかけて完成させた。

結果、「てのひらトング」はマスコミでも紹介され、主力商品に成長。そして今年、笠原さんは第2弾として、木の形をしたフードピック「ツリーピック」を世に送り出す。今回はクラウドファンディングで資金調達。そのため既に注目を集め始めており、期待出来る展開となっている。その笠原スプリング製作所の近所



カフェシュクレのバリスタ高橋由佳さんは「すみだモダン」のケトル「kaico」を使い、ジャパンハンドドリッブチャンピオンシップ2015で優勝した
 カフェシュクレ：墨田区東向島2-31-20 / TEL.03-3613-7551



には、ホロー製品「kaico」で「すみだモダン」に認証された金属プレス加工の昌栄工業がある。同社はホローケトルの加工を得意としており、「kaico」は初めての自社ブランド。「kaico」シリーズの中でも注目

は、三角断面の湯口を持つドリッブケトルで、コーヒーを淹れる時に繊細な滴が落ちるように作られている。開発には、墨田区曳舟にある自家焙煎珈琲専門店カフェシュクレ（梶井有子代表取締役）が関わった。

そのカフェシュクレも「smileシリーズプレミアムシユクレブランド」で、「すみだモダン」に認証されている。梶井さんは徹底的に豆にこだわり、100%トレーサビリティ

イを実現。その中から、最高峰デカフェを使用したノンカフェイン・ブランド「イノセントコーヒー」も生み出した。また昨年から今年にかけては、コラボ事業でボトル入りイノセントコーヒーを出した他、大型焙煎機による専用焙煎所をオープンするなど、最近注目されているサードウェーブ・コーヒー店の旗手として、進化を続けている。

▼取材協力クラブ

東京隅田川ライオンズクラブ（藤本英

介会長 / 30人）≪1961年10月24日結成 / スポンサー…東京浅草ライオンズクラブ / 青少年健全育成に力を入れ、墨田区学校支援ネットワーク事業として薬物乱用防止教室を開催する他、YCE事業、外国人による日本語スピーチコンテストなどを実施。また、献血事業も年に6回行っている。東日本大震災被災地支援にも積極的で、岩手県宮古市における日本一大熊手奉納祭への協賛及び参加、同大槌町のRING・PROJECT CTと宮城県山元町の障害者施設に対する事業も実施している。台湾・高雄市の愛河国際獅子會と姉妹提携をしており、同じく愛河国際獅子會と姉妹提携を結んでいる石川県・松任ライオンズクラブとは友好クラブとして交流している。

読者から——1月号

生き物に触れる活動に感動

クラブ・リポートで取り上げられていた千葉盲学校に対する四街道ライオンズクラブのアクティビティの記事が印象に残りました。動物に触れる機会を与える活動はすばらしいと思います。手はもう一つの感覚器と言われるほど敏感なものですから、生き物に触れるのは命に触れるということにつながります。

ぜひ今後も続けて頂きたいと思います。

千葉県・市川ライオンズクラブ ● 杉山民生

ライオンに課せられた使命

獅子吼は、どれを読んでも勉強になります。リーダーシップについて「は、改めて我が意を得たりという思いでした。リーダーシップという、カリスマ性や、自ら先陣を切って突き



読者プレゼント

「すみだモダン」のコーヒーを読者5人に



今月号特集「ふるさと探訪」(49~53頁)で紹介した「すみだモダン」認証商品の中から、カフェシュクレの「スマイルシリーズ ドリップちゃん」を5人の読者にプレゼントします。スマイル容器に、ハンドドリップ用に挽いたプレミアムシュクレブレンド豆100gが詰められています。オリジナルメジャースプーン付き。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「ドリップちゃん」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は3月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所・ライオン誌
*オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン (www.thelion-mag.jp) の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

進むイメージを持たれることが多いでしょう。しかし、組織の力を最大限に発揮するためには、

それぞれのメンバーが、自らの果たすべき役割をしっかりと認識し納得して、有機的に活動をする必要があります。リーダーに求められるのは、それらをまとめる先見性、計画性、柔軟性、協調性、中立性であり、常に一歩引いた視点から全体を見渡す力だと思えます。しかし、言うは易く、行うは難し。いまだに霧の中にいる自分を恥じるばかりです。

もう一度読みたい「あの記事」も、35年前の獅子吼の一つのよ

うですが、「会員増強としてどしどし入会させたため、最近ではライオンとしてふさわしくない人もいるようだ」との部分は、常に会員増強・新陳代謝を必要とするライオンズクラブが抱える問題です。もちろん、私たちは入会前からライオンであるわけではありません。「地域において声望のある成人」として入会を招請した以上、入会したメンバーをいかにして優秀なライオンに育てるか。それが先輩ライオンに課せられた責任だと思えます。

神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ ● 大南修平

若年層の献血の認識に変化を

当クラブでは毎年献血活動に取り組んでおります。しかし、献血する人が減少し、呼び掛けてもなかなか協力をして頂けないのが現状です。特に献血に対する若年層(20代)の認識が薄いのが問題と思っております(獅子吼「血の尊さ」そして今献血)。

本投稿に書かれているように、ただ呼び掛けるのではなく、献血をすることの大切さ、尊さを若い世代に伝えることの必要性を感じました。

岩手県・紫波ライオンズクラブ ● 阿部正弘

「思い上がり」

宮澤謙 (東京三田ライオンズクラブ)

自尊心、自負心がなければ、人は生きてゆけない。が、人は己の力以上のものを持つている錯覚に陥りやすい。そこに思い上がりの臭気が漂ってくる。順風満帆の時は、吹く風と共にその力を増していくが、自信過剰や思い上がりもそれにつきまと

の弱さというか、権力の座にお世辞、追従の油を注ぐので、ワシマンの思い上がりは止まらなくななり、その結果は、あわれ一卷の終わりとなる。

ライオンズクラブでは、組織の長はもちろん、メンバーの一人ひとりにも思い上がりは絶対



に許されない。ライオンズの場合、まず各クラブがあり、そこに会長が1年交代で存在する。が、これにはあまり問題はない。各クラブを集めた地域の長としてガバナーという存在があり、国際理事と

いうような存在もある。これらの名誉職?になると、自ら名乗り出る者が定員を超して選挙になることがある。問題はここだ。

ライオンズクラブは政党でもなければ、国家組織でもない。ガバナーだろうが、国際理事だろうが、総裁でもなければ、大臣でもない。ただ膨大な人の集まりだけに、それなりの「まとめ役」は必要だ。それも献身的善意の実力者が、推されて就くべきである。力のない者、虚飾

つてくるものだ。例えば中小企業では、社長のワンマン経営が、決定の迅速さにより是認されるが、そこに思い上がりが生まれると、衆知に耳を傾けないばかりか、内外からひんしゆくを買う。周囲も制止するどころか、サラリーマン

ライオンズのメンバーは社会奉仕に精進するのに、己一人の力では余りにも微弱なので、ライオンズクラブの力を借りて、

団体の名において、この奉仕に参加させて頂くという誠に謙虚なつつましい考え方を持つていないはずだ。

多人数の集まりだから、その運営を円滑にするために、運営担当者をおくことは必要だが、奉仕団体であることを忘却し、己の思い上がりに負けて、何かの名誉的地位を得る虚栄団体のようにはき違い、その上層部の何らかの長の地位に就かんとして騒ぎを起こすのは惨状と云っていいだろう。

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

ライオン誌例会のスヌメ
— 次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■ 人種差別撤廃で真の国際組織へ
来たる福岡国際大会には、世界中からさまざまな肌の色のメンバーが集う。1917年の創設時から国際組織を標榜していたライオンズクラブだが、当初の国際会則では会員資格は白人男子に限られていた。今から90年前、この人種差別規定の撤廃に尽力したのは、日本に生まれハワイに移住した黒川直也だ。汎太平洋同盟本部の教育主事をしていた黒川はカリフォルニア州ロングビーチライオンズ

4月号予告

特集 子どもの貧困

日本の子どもの6人に1人が貧困状態にあるとして、相対的貧困率の高さが大きな社会問題となっている。子どもたちの置かれた厳しい状況と、支援の手を差し伸べる地域社会の取り組みを取材しレポートする。



支援の手を差し伸べる地域社会の取り組みを取材しレポートする。

クイズ de 例会

〈第1問〉糖尿病予防の認識を高めることを目的とするライオンズのプログラムは名称は？

- a. Streets b. Straits
- c. Strides

〈第2問〉ライオンズクラブ国際財団(LCIF)の理事長を務めるのは？

- a. 国際会長 b. 前国際会長
- c. 国際第1副会長

〈第3問〉LCIFがアフリカで予防接種を支援し、撲滅を目指す病気は？

- a. はしか b. コレラ
- c. ポリオ

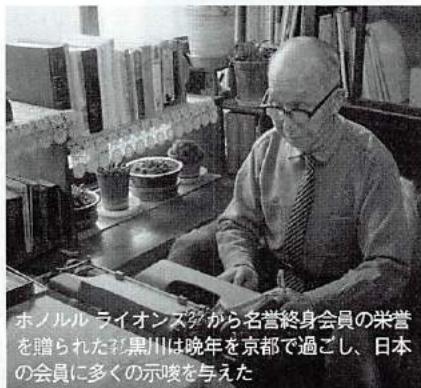
〈第4問〉100周年を記念して地域に目に見える贈り物をしようという○○○○・プロジェクト。

- a. プライド b. サクセス
- c. レガシー

〈第5問〉国際会則の会員資格から「白人」の文字が削除されたのは何年？

- a. 1918年 b. 1926年
- c. 1934年

★回答は54ページ



ホノルルライオンズクラブから名誉終身会員の栄誉を贈られた黒川は晩年を京都で過ごし、日本の会員に多くの示唆を与えた

々の働き掛けを受け、複数の人種を含むチャーター・メンバー50人でホノルルライオンズクラブを結成。これに対し国際協会は仮認証を発行し、その年26年6月のサンフランシスコ国際大会に会員資格から白人の文字を削除する会則改正案が提出されることになった。カリフォルニア州で激しい排日運動が巻き起こっ

ていた当時、黒川は大会前2カ月間で州内21クラブを行動し、会則改正への理解を呼び掛けた。これが功を奏して改正案は通過。出席者から爆発的な拍手が沸いた。会場後方でその様子を見守っていた黒川は、国際会長から壇上へ導かれ「日系ライオン第1号」として紹介された。

日、南アフリカのシャープビルで、人種隔離政策に反対する平和的デモ行進に対し警官隊が発砲し69人が死亡した。潘基文国連事務総長は昨年この日、次のようなメッセージを発信した。「『国際人種差別撤廃デー』は、排外主義や偏見のない正義と平等の世界を構築するという、私たちの約束を新たに作る機会です。私たちは歴史の教訓に学び、人種差別がもたらした甚大な被害を認識しなければなりません。それはすなわち、私たちが自らの知識を用いて偏見を根絶し、あらゆる場所で全ての人に寛容と差別禁止、多様性の尊重を教えられるよう、歴史上の過ちを注意深く記憶にとどめることを意味します」

1960年10月

3月21日は国連が定める「国際人種差別撤廃デー」。世界中で人種差別の撤廃を求める運動が展開される。1960年のこの



EXECUTIVE OFFICERS

President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; Immediate Past President Joseph Preston, Dewey, Arizona, United States; First Vice President Robert E. Corlew, Milton, Tennessee, United States; Second Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

DIRECTORS

Second year directors

Svein Øystein Berntsen, Hetlevik, Norway; Jorge Andrés Bortolozzi, Coronda, Argentina; Eric R. Carter, Auckland, New Zealand; Charlie Chan, Singapore, Singapore; Jack Epperson, Nevada, United States; Edward Farrington, New Hampshire, United States; Karla N. Harris, Wisconsin, United States; Robert S. Littlefield, Minnesota, United States; Ratnaswamy Murugan, Kerala, India; Yoshinori Nishikawa, Himeji, Hyogo, Japan; George Th. Papas, Limassol, Cyprus; Jouko Ruissalo, Helsinki, Finland; N. S. Sankar, Chennai, Tamil Nadu, India; A. D. Don Shove, Washington, United States; Kembra L. Smith, Georgia, United States; Dr. Joong-Ho Son, Daejeon, Republic of Korea; Linda L. Tincher, Indiana, United States.

First year directors

Melvin K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birganj, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillip, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo León, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される。英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会

- 国際理事 西川 義規
- 国際理事 安井 克之
- 国際理事 佐藤 宜之
- 委員長 塚田 雅二 (333複合地区)
- 編集長 井村 一男 (337複合地区)
- 委員長 久津間康允 (330複合地区)
- 委員 中嶋 辛 (331複合地区)
- 委員 佐藤 義則 (332複合地区)
- 委員 石井 博之 (334複合地区)
- 委員 中村 房雄 (335複合地区)
- 委員 寺越 慎一 (336複合地区)

日本ライオンズ事務所・ライオン誌
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777 (代) FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編 集 室

時代の流れ



ライオン誌
日本語版編集長
●
井村一男
(長崎県・諫早)

前号の本欄で、久津間康允委員が「晴天の霹靂」という言葉を使われているが、しかりだ。ライオン誌をデジタル化してペーパーレスにするという国際理事会の方針。少なくとも小生ごとき読書好きは、書物を手に自分で読解しながら想像することが好きなのだ。過去に、ライオン誌の閲読率を調査したことを思い出す。それによ

れば、だいたい読むという人は40%、拾い読むという人は20%だった。この数字が的確かどうか小生には不明だが、我々の年代は長年、活字を目にすることで物事を納得してきたと思われるのだ。ライオン誌は国際協会創設の翌年、1918年11月に創刊された。その年のセントルイス国際大会で月間機関誌の刊行が決議され、創設者メルビン・ジョーンズが発行者の任を負った。文才豊かなジョーンズは平易な言葉でライオンズムを語り、多くの読者がその薫陶を受けた。創刊から1世紀近くが過ぎた現在では、本部版の他

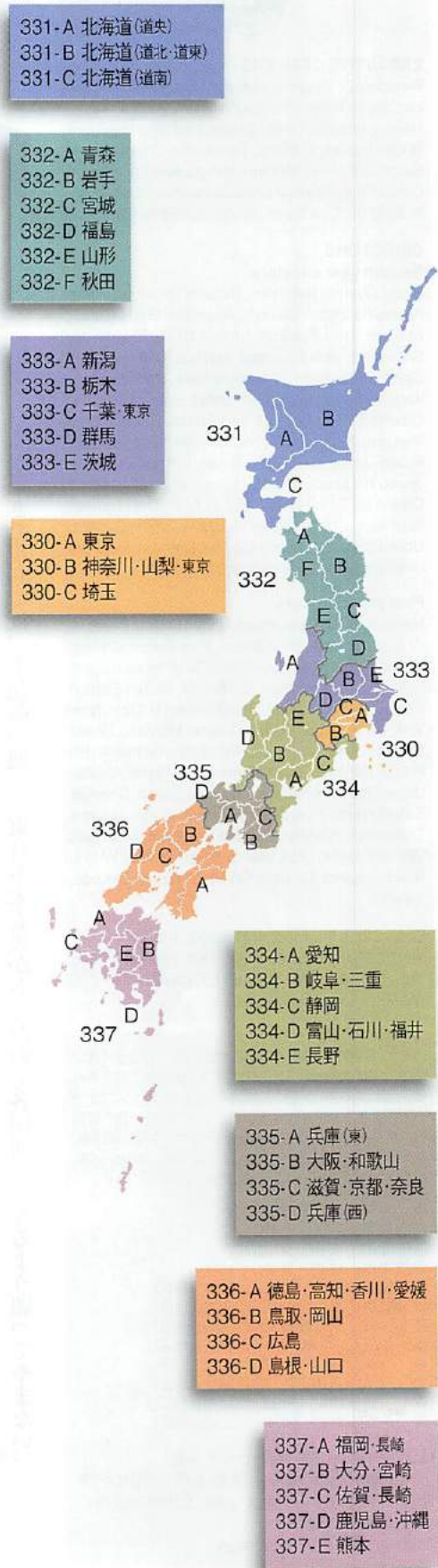
に20カ国語で公式各国語版が発行されている。デジタル化は時代の流れとはいえず、機関誌の意義と読者の意向をもう少し深く考えてほしいものと思う。時代と言えば、この数カ月の世の中もめまぐるしい。ドイツのメルケル首相は34万人の難民を受け入れるとしたが、経済難民と政治難民を分けなければならぬと言い出した。しかりだと思ふ。国がデフォルトの危機にあるギリシャにも、6万人の受け入れが割り当てられている。地理上やむを得ないとも思われる。日本に対しては東日本大震災があったので各国共

遠慮していたが、そろそろ相應の負担を、と言いつくすのではないかと耳にする。ここ数カ月の世界の難しさは凄まじい。中国は元を国際通貨に入れるよう主張。従来の円に、元が加わった。今まさに混沌の時代である。今年6月の第99回国際大会は、福岡市で催される。山田實紘国際会長の任期最後の晴れ舞台となる大会だ。韓国からは国際第3副会長候補が出るということもあり、登録者の総数は4千人が見込まれているとのこと。有意義な大会となるよう願ってやまない。

日本ライオンズクラブ分布図

2016.1.31 eMMR ServannA報告による

地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	202	6,548	123	4,732	1,816 (27.7)	1,864	35	605	1,259
330-B	166	4,841	72	3,993	848 (17.5)	625	25	175	450
330-C	87	2,438	5	1,970	468 (19.2)	392	-22	116	276
330計	455	13,827	200	10,695	3,132 (22.7)	2,881	38	896	1,985
331-A	73	2,826	56	2,261	565 (20.0)	519	19	99	420
331-B	85	2,767	88	2,242	525 (19.0)	454	21	57	397
331-C	52	2,017	64	1,636	381 (18.9)	365	59	91	274
331計	210	7,610	208	6,139	1,471 (19.3)	1,338	99	247	1,091
332-A	64	2,147	66	1,673	474 (22.1)	370	39	80	290
332-B	53	2,441	26	1,610	831 (34.0)	826	31	134	692
332-C	68	1,883	63	1,340	543 (28.8)	501	18	104	397
332-D	73	2,545	133	1,954	591 (23.2)	535	61	109	426
332-E	56	2,077	54	1,623	454 (21.9)	395	31	61	334
332-F	45	1,443	44	1,051	392 (27.2)	344	31	61	283
332計	359	12,536	386	9,251	3,285 (26.2)	2,971	211	549	2,422
333-A	75	3,397	89	2,640	757 (22.3)	728	18	175	553
333-B	49	1,728	165	1,107	621 (35.9)	537	122	137	400
333-C	133	3,767	-13	2,869	898 (23.8)	709	-12	253	456
333-D	54	2,485	159	1,786	699 (28.1)	729	89	169	560
333-E	79	4,583	236	3,000	1,583 (34.5)	1,756	138	449	1,307
333計	390	15,960	636	11,402	4,558 (28.6)	4,459	355	1,183	3,276
334-A	119	7,305	259	4,748	2,557 (35.0)	2,656	197	547	2,109
334-B	81	5,390	1	3,444	1,946 (36.1)	2,283	1	510	1,773
334-C	80	3,804	27	2,987	817 (21.5)	785	1	114	671
334-D	99	6,246	67	3,991	2,255 (36.1)	2,387	-2	418	1,969
334-E	52	2,678	103	1,894	784 (29.3)	803	56	206	597
334計	431	25,423	457	17,064	8,359 (32.9)	8,914	253	1,795	7,119
335-A	84	2,241	85	1,765	476 (21.2)	228	43	32	196
335-B	171	6,969	424	5,004	1,965 (28.2)	1,730	302	354	1,376
335-C	119	4,258	139	3,540	718 (16.9)	465	75	102	363
335-D	64	2,098	100	1,646	452 (21.5)	337	72	80	257
335計	438	15,566	748	11,955	3,611 (23.2)	2,760	492	568	2,192
336-A	148	6,464	273	4,795	1,669 (25.8)	1,307	178	237	1,070
336-B	95	3,368	250	2,728	640 (19.0)	429	217	64	365
336-C	96	3,516	338	3,003	513 (14.6)	355	317	63	292
336-D	95	3,478	254	2,894	584 (16.8)	406	206	37	369
336計	434	16,826	1,115	13,420	3,406 (20.2)	2,497	918	401	2,096
337-A	116	6,042	334	4,150	1,892 (31.3)	1,656	274	354	1,302
337-B	69	3,056	67	2,176	880 (28.8)	879	41	174	705
337-C	82	4,417	75	2,885	1,532 (34.7)	1,632	81	483	1,149
337-D	78	2,475	54	2,106	369 (14.9)	219	27	37	182
337-E	57	1,769	106	1,455	314 (17.8)	207	69	55	152
337計	402	17,759	636	12,772	4,987 (28.1)	4,593	492	1,103	3,490
総計	3,119	125,507	4,386	92,698	32,809 (26.1)	30,413	2,858	6,742	23,671



世界のライオンズ
2016.1.31 国際協会集計

国または領域……210
会員数 ……1,388,393
クラブ数 ……46,481
会員数増減 ……10,447

WHY WHITE?

日本の結婚式でよく見かける黒の礼服に白ネクタイ。
実は世界の常識から外れたファッションです。
上質のシルクに純金箔・プラチナ箔を織り込んだ本物の儀式用ネクタイを、
西陣織の渡文がお届けいたします。
織りのタイならではの質感と風合いが、1ランク上の着こなしを実現し、
胸元の輝きは、大切な人へ祝福の気持ちを伝えます。

チーフ付 15,000円 (税込)

No.003

No.006

No.002

No.001

※実物の色は写真と若干異なる場合がございます。

インターネットでのご注文はこちらから
<http://www.watabun-shop.com>
他の柄や、他の種類のネクタイもご覧いただけます。

【お申込み】 商品番号・本数・ご住所・お名前・お電話番号をご明記のうえ、お電話または FAX でお願いいたします。

TEL 0120-529-374 【受付】 平日
9:00 ~ 18:00

FAX 075-431-0001 【受付】
24 時間

※お支払いは、代金引換または郵便振替にてお願いいたします。

【取扱店】 ANA クラウンプラザホテル京都店 075-257-1910 織成館 (京都西陣) 075-431-0020 渡文人形町店 (東京日本橋) 03-3639-2360
ホテル椿山荘東京 03-3943-1111 ジャパンシルクセンター (有楽町) 03-3214-1691

渡文株式会社 〒602-8482 京都市上京区大黒町 693 <http://www.watabun.co.jp> ほんものを結ぶ喜びを ... **渡文**

99thライオンズクラブ国際大会

～福岡市にて開催～

期間

2016年6月24日(金)～28日(火)



Do for People Do for World

99th International Convention
2016 Fukuoka Japan

スローガン「動き出そう!人々のために、世界のために」
Do for People Do for World

今、世界はライオニズムの情熱と献身的な奉仕を切望しています。

全ての国家と民族に自由と正義を保証する平和を実現するために、世界中のライオンは堅く団結し、人々の期待に応えようではありませんか。

創立100周年のシカゴ大会を目前にして、2016年には当地福岡にて「第99回ライオンズクラブ国際大会」が举行されます。

全世界から多くのライオンが一堂に会し、感動的であり有意義な誇るべき大会になることでしょう。

ホスト委員会(MD337)をはじめ、福岡県、福岡市、地元の様々な民間企業が一体となっておもてなし(OMOTENASHI)の心で皆様をお迎えできるように、総力を挙げて取り組んでまいります。

ぜひともご登録・ご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。福岡が皆さんをお待ちしています!

※二行目はメルビン・ジョーンズのお言葉です。

主要会場



本部ホテル



本会場 / 福岡ヤフオク!ドーム



展示会場 / マリンメッセ福岡



登録会場 / 福岡国際会議場

国際大会の主なスケジュール
(予定)

6月24日(金)

- 大会登録や参加キットの受け取り
午前10時～午後5時・福岡国際会議場
- 展示ホール
午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡

6月25日(土)

- 国際パレード
午前10時スタート・福岡市のメインストリート
明公道を行進します
- 展示ホール
午前11時～午後5時・マリンメッセ福岡
- 国際ショー
午後7時～8時15分・ヤフオクドーム

6月26日(日)

- 初日総会 / 開会式
午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- 展示ホール、セミナー
会議
午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、
福岡国際会議場

6月27日(月)

- 2日目総会
午前10時～午後1時・ヤフオクドーム
- 展示ホール、セミナー
会議
午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、
福岡国際会議場

6月28日(火)

- 投票
午前7時30分～10時30分・マリンメッセ福岡
- 3日目総会 / 閉会式
午前10時～午後1時30分・ヤフオクドーム

☆ヤフオクドーム、マリンメッセ福岡、福岡国際会議場への入場には、国際大会への参加登録者に用意される「参加登録証」の着用が必要です。
☆ホスト委員会の活動状況、大会スケジュール等については随時ホームページに発表してまいりますので是非ご参照ください。
ライオンズ会員専用ページへログインする為のユーザー名は「lions」パスワードは「japan」です。



第99回 ライオンズクラブ国際大会 ホスト委員会事務局

〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3 ヒルトン福岡シーホーク

Tel / 092-407-8199 Fax / 092-407-8948 E-mail / lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp

<http://lions99-fukuoka.jp>